

☆ 第2回役員会報告 ☆ (昭和63年6月7日、於：医療短大)
出席者：石川、尾田、川口、藤田、後藤

I 報告事項

1. 記念誌原稿がまだ3分の2程しか集まっていない。
2. 医短の図書館の紛失本が見られる。特にPT関係の本が多いということで、卒業生に確認してほしい。

II 協議事項

1. 菅原教授退官記念の記念誌発行について
 - ◎記念誌作成委員会を発足させ、編集作業を円滑に進めていく。
 - ◎6期生にも原稿依頼をし、締め切りを7月末日必着とする。
 - ◎予算は30万円、発行部数150部とする。
 - ◎記念誌作成委員会
委員長：藤田智香子、委員：奈良剛、三上雅史、勘林秀行
2. ニュースの見直しについて
ニュースの内容については広報部長に一任する。
会員数が100名を越え、発送作業が大変だが、役員と事務局員が役割分担して円滑に行う。
3. 研修会の開催について
テーマは未定だが、研修会に向けて準備委員会(委員長：佐藤峰善)が活動し始めた。
4. 事務局員との連絡を密にするため、連絡用にテレホンカードを用意する。

以上(文責：後藤)

☆緊急☆

--図書の危機?!--

医療短大図書室の本が少しずつ紛失しています。特にPT・OT関係の本が多いとのこと。もしお心当たりの方がいらっしゃいましたら、後輩のためにもどうか本を返却して下さい。同窓会事務局宛に送って頂ければ、こちらから図書室に返却します。卒業生の皆様にこんな呼掛けをするのは心苦しいのですが、それだけ状況が悪いのだということをお察し下さって、どうかよろしくお願いします。

the 主婦 秋編

第2回生 兜森 智子 会員

(所属：黎明郷リハビリテーション病院)

皆さんお元気ですか？“美人を育てる秋田米”を食べ始めて9ヶ月、一向に美人になる気配もないと腹を立てている2期生兜森です。

“25才のうちに結婚したい”という願いがかなって結婚したのが去年の9月、当分は2人だけの生活を--と思っていたのもつかの間、今年1月にはつわりが始まり、苦しい数ヶ月が続きました。しかし今ではお腹の子供のためにと無理をして(?)バクバク食べるため体重も5~6kg増え、妊娠8ヶ月のブヨブヨの身体をもてあましてながら仕事をしている毎日です。

私の場合、仕事と家事の両立はそう困難なものではありません。なぜかというと新婚早々のつわりでしっかり家事の手抜きが身についてしまったからです。今日は吐き気がするとっては食事の手を抜き、過労は流産のもとになる！と主張してはゴロゴロしているといった具合で、一生に数回しかないマタニティをしっかり満喫しています。

仕事の方は8月からちょっとだけお休みします。そして皆さんがソウル五輪を観て楽しんでいる頃、私はひとり分娩室のベットで苦しんでいると思います。毎日老人ばかりを見続けた4年間でしたが、これからは一人の子供の発達を通してまた違う角度から患者が見れるようになればと思っています。

さて、今年も暑くなって来ました。ビールのおいしい季節ですね。皆さんもあまり飲み過ぎないで頑張ってください。私は隣でおいしそうにビールを飲んでいる主人を横目でにらみながら、今晚もチビチビ牛乳で晩酌をしながら元気にSHUFUしています。

☆ 会費納入・移動届提出について ☆

前回のニュースでも公表しましたが、会費未納者及び移動届未提出者がまだ若干名いるようです。早めにお願います。ボーナスの残っているうちに会費を納めてしましましょう！！以下に示す名簿は7月5日現在のものです。

(既に支払いの済んでいる方は御容赦下さい)

同窓会費未納者 (62年度まで) ○：未払い分 S.63.7.5 現在

コード	会員氏名	60年度分	61年度分	62年度分	未納金 合計	63年度 年会費	今年度 請求額
840305	金沢 善智	現金 60. 9.22	○	振込 62. 7.27	2,000	2,000	4,000
840309	竹内 英次	現金 61. 6.21	○	○	7,000	2,000	9,000
860311	舘山 智格	—	—	○	5,000	2,000	7,000
	合計		4,000 (2名分)	10,000 (2名分)	14,000	6,000	20,000

☆ 私のページ ☆

今回は、以下の3名の方にお問い合わせ致しました。

第1回生 石川 玲 会員 (所属：国立療養所岩木病院)

弘前大学医療技術短期大学部を卒業して以来、早いもので6年目を迎えました。この間昭和62年4月に国立療養所岩木病院に移り、現在に至っています。国立療養所という施設には第1線病院とは異なる特有の「親方日の丸」的な雰囲気があるようです。この雰囲気を感じているのは私だけでなく、やはり他の職場から移ってきた職員も同様に感じており、物静かな私でも若干ラジカルにならざるを得ない状況が時にあります。そんな中で心強いことは、直接の上司である医師がリハビリテーションに積極的に取り組んでいる点でしょう。最近一人職場について色々とりざたされていますが、リハビリテーションに理解ある医師のもとではその問題もかなり軽減されることを痛感します。

私的な面では、今年の10月に第3子が誕生予定であり、第1・2子が女児であったため「今度こそは男！」と今なお無駄に気負っています。どういう訳か3子とも誕生時期が9月・10月に集中し、巷ではパターン化しているなどと評判のようですが、このことを否定できずに笑って誤魔化している今日この頃です。

第3回生 小野寺 良子 会員 (所属：公立気仙沼総合病院)

うっとうしい梅雨の季節、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか？

ところで、3年間学んだ弘前に、そして弘前城に別れを告げ、今回また3年目にして杜の都青葉城のある仙台を離れ、お城も何もない地元に戻ってきてしまいました。といっても自然環境には大変恵まれており、家に帰れば山を仰ぎ、職場からわずか数分で海を臨み、といった具合です。20歳を？年も過ぎてさらに身体が成長するのは（横への成長の方が早いようですが）と心配しています。そのせいか女性ばかり4人のPTを区別するため、患者さん達は「大きい先生」「小さい先生」「めがねをかけた先生」などと言っているようです。もちろん名前でもわかるのですが、今の職場には小野寺が多いものですから……。おわかりの方もいると思いますが、私の希望としては早く「大きい先生」から抜け出し、「細い先生」と呼ばれてみたいものです。

第6回生 齊藤 智千 会員 (所属：東京大学医学部附属病院)

はじめまして、私は今年、幸か不幸か、東京大学附属病院に就職し、毎日、鳴かず飛ばずの日々を送っています。近況報告ということですので、私の1日の生活をお知らせしたいと思います。

まず、朝6時に起床、7時に部屋を出ます。通勤は電車を利用していますが、この人混みは経験した者でないと実感がわかないでしょう。おじさんのボマードの匂い、おばさんの厚化粧の匂い、高校生のツッパリあんちゃん、酔っぱらい、汗、ワキガなど渾然一体となっていて、それはもう尋常な世界ではありません。この修羅場をきりぬけ、楽しい職場に着くのが、午前8時10分、仕事が終わるのは日によって違いますが、平均午後9時頃です。

病院では、CVA1名、顔面神経麻痺2名、脊損1名を担当しています。他の病院に比べ、担当患者数は少ないと思いますが、これで精一杯というのが実感で、良く言えば、1人1人の患者にじっくりと理学療法を行っているということになるのかもしれない。また、“東大病院の内情は大変だ！”という風の噂を小耳にはさんでいる方も多いと思いますが、実情に関しては、ここではさけていただき、興味のある方は、今年のPT学会での発表を参考にしてみたいと思います。

以上、とりとめのない内容になりましたが、一応、近況報告といたします。

発行：1988年 9月 6日

責任者：石川 玲

事務局：弘前大学医療技術短期大学部

理学療法学科研究室内

0172 (33) 5111 内線 5676

☆ 第3回役員会報告 ☆ (昭和63年8月26日(木), 於：医療短大)
出席者：石川, 川口, 尾田, 楠美, 千葉, 後藤

I 報告事項

1. 記念誌編集委員会より

①菅原教授退官記念の記念誌原稿, 写真がまだ届いていない人がいる。

9月15日必着をお願いします。

②記念講演のテープ起こしを現在進行中。

II 協議事項

1. 昭和64年度は役員改選の年になっている。→選挙管理委員会へ連絡。

2. 総会について

時期は研修会と同時に来年2月頃を予定している。

3. 研修会の開催について

内容・場所等は準備委員会で検討中。

4. ニュース内容について

以上 (文責：後藤)

< 紹介 >

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科助教授 青木主税

8月25日のメ切日を過ぎてもワープロのキーを打てずに悩んでいましたが、今日、8月29日にキーを叩いています。実は今日は小生の？回目の誕生日なのです。一年間の生活が自分自身に納得出来なかったら、誕生日は保留し留年する制度があったらと思う今日この頃です。

20年前、卒業して初めての職場が津軽海峡を渡った函館でした。東京から夜行列車に揺られ、連絡船で赴任しました。連絡船が廃止になる今年に縁があって、しよばい川の手前の弘前にきました。6月に赴任して2ヵ月が経ちましたが、何も判らなく、介助歩行の状態です。前の勤務が東京都補装具研究所という臨床に離れたところで、エンジニアと歩行解析や機器開発研究をしていましたので、教育の仕事ははじめてです。卒業生諸氏、よろしくご指導をお願いいたします。

現在、学園町の官舎で「弘チョン」生活です。宿泊可能です。ご利用ください。

the 主婦 ----- Tokyo 編

第1回生 玉田 富士子 会員 (所属: 東京小児療育病院)

皆さんお元気でしょうか? つい最近結婚3年目に突入しました1期生の玉田です。私は今まで自分のことを”主婦”だと自覚していなかったのですが、とても混乱しているのですが…ただ一つ、夫の食生活(健康管理とはとても言えない)に関してはまあ考えようじゃないかというので、お弁当作りには毎日頭を悩ましています。夕飯を食べながら明日の夜は何にしようかなあ…このあたりが主婦の”さが”でしょうか。あとのことは、お互い大人ですから自分で責任を持ってと建前では言っていますが、本音は理解のあるいいだんなさんに恵まれて幸せな主婦といったところでしょうか。妻と主婦に加えて、そろそろお母さんになる日も近いと思いますが…?

私の職場は、お給料と労働条件だけは良いところで、(じゃああと何が悪いのかと言われても一口ではいえませんが)主婦とか母親とかが働くには最適と言えます。ただ重心の人の訓練は、27才までが限度かなーと思うこの頃です。

ただ、小児関係をやってきて思うのは、重心はとても勉強になるということです。最近是新卒の方が一人でがんばる所も増えているようですが、つい最近、みどり愛育園が発起人になり連絡会を作ろうという行動をおこしました。全国の重心施設のPT・OTの方々から(長崎の宮川さん、どうもありがとうございました。今後もよろしく…この場をかりて)返事をいただき、心強くしているのですが、大変さも限りなくあります。まあもうしばらくは頑張ってみようかなと思っています。その分、家事はまた手抜きになるのかなー(主婦のひとりごとです)

☆ 菅原教授記念誌進行状況について ☆

記念誌編集委員会

第1回記念誌編集委員会が8月22日に開催され、以下の事項が確認、決定された

- ①原稿・写真集計状況(9月1日現在)
原稿 70/120(63%)・写真 60/112(54%)
- ②再募集のハガキを発送
原稿・写真未到着者にのみ。9月15日締切厳守
- ③菅原教授記念講演(於:アップルランド)テープ起こし
会員・委員9名に依頼(9月15日まで)
- ④入力した到着分原稿データの校正
委員で分担(9月15日まで)
- ⑤作業・内容の検討
最終的には印刷所へ発注する方向で、写真も全員分に対し掲載する。

発行：1988年11月8日

責任者：石川 玲

事務局：弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科研究室内

0172 (33) 5111 内線 5676

☆ 第3回役員会報告 ☆ (昭和63年10月28日(金), 於: 医療短大)

出席者: 尾田, 後藤, 川口, 藤田, 佐藤(峰), 楠美, 千葉, 河原

I 報告事項

1. 研修会準備委員会: 9月30日開催
開催日時・場所, 研修会の内容(テーマ), 講師の選定等について
2. 記念誌編集委員会: 8月22日開催
原稿の収集状況, レイアウト, 予算等について
3. 選挙管理委員会から
告示は昭和63年12月11日までにを行う予定

II 協議・決定事項

1. 研修会及び総会の開催について
9月30日の準備委員会の報告を受け、理事会にて討議した結果、以下のように大要が決定した。

① 研修会

- ◎開催日時: 昭和64年2月11日(土) 午後1時~3時30分
- ◎講師: 伊藤 日出男先生(座長) - 弘大医短PT学科助教授
- ◎テーマ: 『地域リハビリテーション』について
- ◎内容形式: パネルディスカッション形式
パネラーは3~4人(未定)とし、各地域の『実践報告』をしてもらう
伊藤日出男助教授には座長をしてもらい討議を行う形式とする。
- ◎場所: 青森市浅虫 『柳乃湯』旅館
- ◎予算: 1人8000円程度(宿泊費, 懇親会費を含む)
(同窓会の研修会計上予算は、講師謝金を含み8万円)

尚、講師の依頼にあたって、伊藤先生は快く引き受けて下さいました。先生は来年岩手で開かれる全国学会で地域リハビリテーションに関して発表をされるそうで、先生からそのための資料作りには是非同窓会の皆さんに協力してほしいとの依頼がありました。内容は、会員全員に郵送でアンケート調査をするということでした。

② 総会

研修会と合わせて行い、研修会終了後3時45分より行う。
尚、選挙の開票を同時に行う。

以上(文責: 尾田)

☆ 私のページ ☆

今回は、以下の2名の方をお願い致しました。

第2回生 内村 元 会員 (千葉労災病院)

皆さんご無沙汰しております。2期の内村です。同窓会名簿を見ていたら今年の1年生は9期！来年は10期生かと思い年取ったなあ～と感じた私はもはやおじんでしょうか？

私の現況といえば、毎日朝8時から夕方5時まで患者さんと（一部には“で”じゃないかといわれますが）遊んでいるそうです。（私はまじめにexしてるんだけど回りはそう見てくれない、悲しい）。これに、マイコンを使ってアンケートの統計処理をしこしこやっております。息抜きにゲーム等を作りながら（やっぱり大戦略シリーズは面白い）。

就職して5年目、関東圏に就職する同窓生も着実に増えしかも今年、香川先生が神奈川県士会に移ってこれ、同窓生による勉強会も始まりました。この前第1回目があったんですが、緊張しました。なんせ丸4年ぶり、教官の前で発表しなきゃなんないのは（青森に就職した人大変ですね）、これならまだ県士会で発表するほうが気が楽です。

全然まとまんない話でしたが（教官には何時ものことだといわれそうですが）皆さん元気で！同窓会で又遭いましょう！

追伸！ S66年に千葉で全国研修会があります。皆さん来て下さい！

第6回生 助川 律子 会員 (所属：八戸赤十字病院)

拝啓、先輩の皆様方をはじめ同期の皆さんお元気ですか？私は、無事国家試験を受ける事ができ、今年の4月から八戸赤十字病院にて勤務させて頂いています。PTは私一人なので何かと悩む事も多く、自分の力不足を思い知らされる毎日を送っています。最初は何もかも完璧にやらなければならないと肩をいからせ（普段は気持ち悪い程なで肩なのです）、目をつりあがらせて（酔うと垂れ目なんですケド……）、毎日を過ごしていました。施設基準だ、カルテだとあれこれと一度に手をのぼそうとして、自分で自分の太い首を絞めていました。頭ではわかっているものの、いろんな面で皆より遅れをとっていると思うと気が焦ってしまい、失敗もありました。様々な問題もありますが、こんなものはまだまだ序の口だということをしかりと肝に命じておかなければいけないと思っています。

5月中旬になってやっと自分の机と椅子がもらえたこともあって、ようやく自分の居場所を確保できた様な気がして、ほんの少しホッとしています。そのせいか、お酒を飲んでいてもつい口を閉め忘れてしまい……。

これから新たに生じてくる問題や悩みにどう対処していいのか自信はありませんが、自分に負けない様、自分に厳しくしていきたいと考えている今日この頃です。

霧の都、八戸に来た際には、是非、田園風景の楽しめる赤十字病院へ遊びにきて下さい

PS 川口さん！「私をスキーに連れて行って」下さいネ！！

2. 記念誌発行について

菅原教授記念誌進行状況について、第1回記念誌編集委員会が8月22日に開催され、以下の事項が確認、決定され、理事会にて承認された。

①原稿・写真集計状況（11月8日現在）

原稿：83/112（74%）・写真：73/112（65%）

②菅原教授記念講演（於：アップルランド）テープ起こし終了

川口会員に編集を依頼、その後委員が校正、現在菅原先生に再校正を依頼中。

③入力した到着分原稿・その他の校正

数名の会員でワープロ入力を分担、編集委員にて校正を行い、終了している。

④印刷所と装丁・印刷方式などの相談・交渉

- ・写真が入るのでやや割高になる。
- ・印刷方法はワープロ印刷（講演内容、会員の原稿をワープロ入力し、フロッピーディスクのまま印刷所に渡す方式）とする（→校正が簡単でコストが安い）
- ・100頁前後、150部として予算内（30万円）で可能。

⑤発行予定

昭和64年2月、研修会開催時に間に合わせる

以上（文責：記念誌編集委員長 藤田）

☆ 私のページ ☆

今回は、以下の2名の方をお願い致しました。

第2回生 岩淵 達也 会員（所属：厚生連総合病院旭川厚生病院）

天皇陛下のご容態が気になる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ここソ連領旭川では、まだ9月だというのに雪のため、一面真っ白です（本気にしちゃいけないよ）。そのため、私は風邪をひかさせていただきました。夏には放射線科のキャンプに参加したおかげで風邪を引き、それが治らないうちに石狩川のいかだ下りに参加してくれないかと頼まれ、参加したもののゴール直前で川に落ち、溺れそうになるは、眼鏡は沈むは、財布は流れていってしまうは、風邪は悪化するは、で悲惨な日々が続いておりました。その夏も終わり、ほっとしたもの束の間、また風邪を引くという虚弱体質には我ながら感心してしまいました。

この風邪を患者さんにうつし、早く治そうと思っています。

皆さんも健康には十分気をつかれ、リハビリに励んでください。今日は健康をテーマにお話させていただきました。では、またお逢いできる日を楽しみにしております。

第5回生 橋村 尚樹 会員（所属：長浜赤十字病院）

電車、車、バイクはたまた徒歩。皆さんも様々な方法で御通勤されていることと思います。私の通勤スタイルはというと、自転車に乗って、デイバックを背負って、学生の時とそう変わらない格好です。ここから私の一日が始まります。

仕事の方は、2年目になって少しは心に余裕ができてきたかなと思います。治療を始めようとして、患側と健側を間違えたり、患者さんを他の患者さんと勘違いしたり。こんなことは頻繁ではありませんが、たまにやらかします。患者さんはすぐに「足が

違う」といって笑いながら教えてくれます。こんな初歩的ミスは今でもやっている自分は根本からたるんでいるのかもしれませんが、けれど、一本どこかで抜けていることが逆に患者さんや職場の人たちとの間では、潤滑剤になっている気もします。小さいことでもいろいろなことを教えられながら、少しはましなPTになっていけるのかもしれませんが。ありがたいことです。

私生活の方はというと、健康管理にと柄でもなく少林寺拳法を始めました。もう5ヶ月にもなります。子供たちに交じって、エイッ、ヤーとやっています。とてもよいストレス解消になります（注：これからは私を怒らせないで下さい）。

もう一ついま熱中しているのはワープロです。この原稿もワープロでと思いましたが、そんなことをしたら、何時間かかるかわからないので手書きにしました。使いこなせるようになったら次はパソコンをと考えています。

では、同窓生の皆様、お元気で。

ご・だんな

第4回生 松沼 文男 会員（所属：はんなさわらび学園）

”仕事と主夫奮戦記”というテーマで原稿依頼が届いたとき、やっぱり来たかと思いました。在学中から主夫と子育てしてきましたので、当時の方が奮戦中という感じがします。朝保育園に送ってから学校に行き、授業が終わると保育園に迎えに行くという毎日。その子供達も今や小学校3年生と1年生、群馬に帰ってから生まれた長男も2才となり家族も5人となりました。子育てに追われてさぞや大変な毎日だろうとお思いでしょうが全く逆。在学3年間の抑留生活のうっふんをはらす為、子育てもかえりみず、ひたすら失った日々を取り戻す毎日。釣り、ゴルフ、バイク、川下り、スキー、……と、抑えていたものをやりまくっています。群馬は山が多いところなので、自然の中で健全な遊びを中心にストレスを発散させています。（私の家は榛名山の麓にあり、岩木町の雰囲気似ています。家から見える夜景は最高です。）かみさんも初めのうちは大目に見てくれていましたが、最近はあきれかえって私をあまりあてになくなってしまいました。こんなことばかり書いてると、今回のテーマに全くそぐわない内容になってしまいそうですが、仕事の方も遊びに負けないくらい頑張っているつもり。リハに対する施設側の期待も大きいので、それに答える為にも夢中で働いているところです。また学習意欲を失わないように毎週群馬医短に勉強に行ったり、共同研究をしたりしています。卒業して丸3年、失った日々もしだいに埋まりつつあり、少しは主夫らしいことをしようと思いつき、家の周りをうろうろしはじめた今日この頃です。

☆ 会費納入・移動届提出について ☆

昭和63年11月8日現在の会費未納者は以下の通りです。昨年までの未納者も含め、23名に達しています。尚、移動届未提出者も24名います。結婚なさって姓・住所の変わった方、引っ越した方、電話番号の変わった方、職場の変わった方、これらの方々は、会報「Apple Road」にて全会員に連絡致しますので、できるだけ速やかに変更を申し出て下さい。

☆ 役員改選について（選挙管理委員会からのお知らせ） ☆
昭和64年3月末日の任期満了に伴う昭和64年度役員改選の件につき、以下の通り
告示を行い、役員の内候補及び推薦を開始致します。

告 示

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科同窓会会則第8条及び選挙管理
規定第1条に基づき、下記の役員及び会計監査委員の改選選挙を行う。

1. 立候補、推薦の受付期間
1988年12月11日～1988年12月24日
2. 選挙役員：会長1名、副会長1名、理事4名
3. 所定の様式に従い届出書を選挙管理委員長まで郵送して下さい。
(届出書は同封してあります。)

以上

1988年11月8日 弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科同窓会
選挙管理委員会

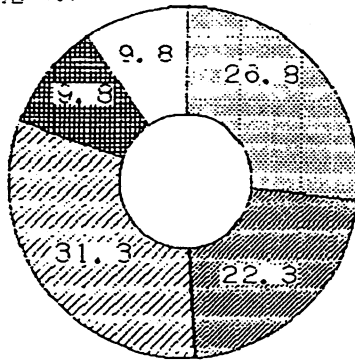
☆ 同窓会員血液型統計人数 ☆

各血液型の平均像は、次のように言われています。さあ、あてはまるかな？

- ①A型：何よりも「人並」を好み、人と違っているのがイヤ。だけど、たまには変わったこともしてみたい。でもやっぱり出来ない。良くも悪くも「常識型」で、大きな失敗をしない代わりに目立った成功もまずしないタイプ。ま、平均的日本人の姿がこれぞんす。必ず幸福がつかめるのは貴方たちよ(?)
- ②O型：良くいえばおおらかで冷静、悪くいってしまえばずぼらで無神経、自己中心型の人間。どちらかといえば目立ちたがりの反面、人望が厚いからリーダー格になる人が多く、支配者として成功しやすいタイプです。でも、調子に乗りすぎると・・・？。元々面倒見が良いので頼られますが、悪い面が出すぎると独裁者として嫌われちゃうヨ。・・・貴方、大丈夫？
- ③B型：マイペース型ののんびり屋、その上お調子者で……。 “非常識”と誤解されやすいんですよね♡でも、ちゃんと(B型なりの)常識だって持っています。組織の枠にはまれない猫型人間で、自分の“センス”に自信のある人が多いのも特徴です。発想のユニークさはピカー！誰もかないまっしえーん。
- ④AB型：繊細でデリケート、ナイーブな人が多い。自分の意見をはっきり言えず、周りに流されやすくもあります。芸術家肌と言われます。A型とB型の両面を持ち合わせているから、分裂症とか二重人格とか言われますが、気分転換が上手で、あんまりストレスは溜りません。でも、本当かなあ・・・？

血液型割合

血液型割合 (%)



	A型 : 30.8
	B型 : 25.8
	O型 : 35.3
	AB型 : 11.1
	? : 11.1

※ 日本人にはA型が多い!...はずだけど、おおらかなO型が勝ってしまいました。やっぱり、PTやっていくためには物事にこだわらない(はっきりいって鈍い)性格が向いてることかな? これからのPT業界を背負って立つ(?)O型の皆さん、張り切っていきましょう!

常識命!のA型の皆様、貴方たちがいるおかげで、PTはカタい商売だ、というイメージが保たれている...? 本当にいつもイメージアップに御協力頂いてありがとうございます(でも全員が該当するなんて考えてはいけないのさ!)

変態と罵られているB型の皆様、PTというカタい商売はつらくありませんか? B型の獨創性・創造性を活かして頑張ってくださいね♡

デリケートなAB型だって、いわゆる客商売のPTやっていくのはつらいわよねえ? 周りに気を使いすぎて倒れないよう、リラックスしてお仕事して下さいな♡

編集後記

寒い季節となりました。おでんが恋しい季節ですね。おでんの具の中で「ふろふき大根」があります。やわらかく煮た大根を熱いまんまいただくのは、寒い冬の夜にはありがたい料理です。ふうふう吹いて食べるので「風呂吹き大根」という名がついたそうです。”冬もまたおかし”でしょうか

今回から、「ザ・ダンナ」という新しいコーナーもできました。原稿依頼があった方は宜しく願いいたします。また、何かご意見、投稿等がございましたら、事務局宛にお送り下さい。

編集同人

川口 徹
奈良 剛

尾田 敦
佐藤比呂子

藤田智香子
楠美 有理

菊池 香
河原優美子

千葉 恭子

弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科同窓会会報

Apple Road

No. 24

発行：1989年 1月11日
責任者：石川 玲
事務局：弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科研究室内
☎ 0172 (33) 5111 内線 5676

☆ 特別寄稿 ☆

青森県立中央病院理学療法士 齊藤 康弘

昭和58年退官以来早いもので既に5年が過ぎてしまいました。現在青森県立中央病院において、フレッシュな脳卒中のリハビリに励んでおります。年間新鮮例 150前後の患者を治療してきたので、トータル 750例以上の脳卒中患者を扱ったこととなります。小児疾患に比べると脳卒中のリハビリはゴールがはっきりしており、また勝負も早く（治療期間）、手抜きや怠慢は許されず、患者、家族共々毎日が真剣勝負です。

今年も残り少なくなり、来年は 4回目目の巳年を迎えることになりました。加齢現象が現実のものになって体調に現れてきています。特に視力の退行現象（老眼）が顕著で、新聞等を読むことがなござりになり、見出しを見るだけで興味ある記事以外は読まなくなってきました。

20才以降毎日10万個の脳細胞が死滅していくと言われていますが、自分の場合27年経過しておりますので、既に10億近くの細胞が消滅してしまっている勘定で、脳細胞の1/10が欠損してしまっていることとなります。脳細胞の減少により全身機能が確実に低下し、これから衰えが加速度的に進み、体力、知的にも誠に寂しく心細い限りです。

それに比べ若さいっぱい、我が弘前医短理学療法学科の同窓生の皆さんは全国各地で活躍されていることを頼もしく思っています。やがてリハの世界において弘前医短の名声が鳴り響く時期も遠からずやってくるものと確信しています。その証として先の弘前における第 6回東北理学療法士学会は、ほぼ同窓生の力で成し遂げたといっても過言ではないと思っています。また青森県士会の発展、貢献においても同窓生の影響力が今後ますます大きくなることと思います。

同窓生におかれては、旺盛な知識欲、卓越した技術力、患者の痛みがわかる人間性を基に、これからの日本のリハを背負っていくための土台をしっかりと築いて欲しいと思います。

仕事の価値判断として、京セラの稲盛氏は、能力、熱意を 100%発揮しても、考え方が正しくなければ、結果は価値のないものとなってしまいます。考え方がマイナスにならないように、平常心を失わず自らを律することのできる人間にならなければならないのです。

能力（100点満点）×熱意（100点満点）×考え方（100点）＝価値判断方式
（京セラ稲盛氏）

これからの弘前医短理学療法学科同窓会の益々の御発展と、同窓生皆様の健康を祈念しております。

the 主婦

秋編

第3回生 加藤 禾口枝 会員 (所属：湖東総合病院)

皆さんお元気ですか？3期生の加藤和枝です。(旧姓梅津です)結婚してから2ヶ月になりますが、新しい名字にはまだ慣れませんね。職場では、旧姓で呼ばれたり、“梅ちゃん”と呼ばれることが多いです。“加藤さん”と呼ばれても自分のことじゃないみたいで……。

ところで、仕事と主婦奮戦記と言うことですが、私の場合、たいして奮戦もしてないんですよ。どんな様の両親とおばあさんといっしょに暮らしてますので、1/3主婦ってとこですね。仕事が終わったあとそんなに急いで帰る必要はないし、(とはいってもそれなりに早く帰ってはいますが)あまり独身時代と比べて、仕事に対して大変になったということはありません。ただ、家で勉強したりということはほとんどないです。(前もあまりなかったですけど)少し遅くなっても病院でやってしまうようにしています。

もうじき卒業してまる4年になりますが、なかなか進歩がなくて……。勉強しなくてはいけないことはたくさんあるのに。でも、あせらずに少しずつ積み重ねていけばいいと思っています。皆さんお互いに頑張りましょう。

これから忘年会、新年会のシーズンです。(これが出る頃にはもう終わってるかな?)あまり飲みすぎないようにしましょう。

☆ 自由投稿 (Free Writing コーナー) ☆

第5回生田畑穂会員 (所属：東京済生会中央病院)より原稿がきていますので紹介します。なお、紙面の都合にて広報部にて若干の省略をいたしましたのでご了承下さい。

「関東地区在住同窓会会員有志一同による勉強会の紹介」

前略 全国の同窓会会員の皆様方お元気でしょうか？。よくアップルロードをお読みの方はご存じでしょうが、こちら関東地区に在住の同窓会会員有志一同は、昭和63年7月より、香川先生と共に2ヶ月に1回のペースで勉強会を開くことになり、はじめは長続きしないのでは?!とも思われましたが、毎回12名ずつ、数えたような出席があり、先頃、忘年会をかねた第3回の勉強回も無事終わり、これまでに行われた内容について皆さんにお知らせしたいと思います。

◇第一回勉強会 テーマ「自由演題」

昭和63年 7月 2日 於 東京女子医科大学病院 中央リハビリテーション部

◇第二回勉強会 テーマ「小児」

昭和63年10月 1日 於 東京女子医科大学病院 中央リハビリテーション部

◇第三回勉強会 テーマ「老人」

昭和63年12月10日 於 東京女子医科大学病院 中央リハビリテーション部

弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科同窓会会報

Apple Road

No. 25

発行：1989年 5月15日

責任者：石川 玲

事務局：弘前大学医療技術短期大学部

理学療法学科研究室内

☎ 0172 (33) 5111 内線 5676

☆ 平成元年度に向けて ☆

会長 石川 玲

本会も発足以来7年目を迎えました。これまでは、1・2回生を中心に会の運営に当たってきましたが、今回の改選の結果、新役員にはフレッシュな方々が選出され、より新しい視点で同窓会の運営ができるものと確信しています。

過去6年間の反省を踏台として、今後は総会研修会のあり方、会費の扱いなど将来展望についてじっくり見直しを図り、本会発展の地盤固めに一致協力して努める所存です。既に新メンバーによる理事会では、このような観点から検討が進められておりますので、会員諸氏の一層の御協力をお願い申し上げます。

☆ 平成元年度研修会・定期総会終了 ☆

平成元年2月11日(土)、青森市浅虫柳の湯旅館に於て、平成元年度の同窓会研修会が『地域リハビリテーションについて』というテーマで弘大医短伊藤日出男助教授を講師に招いて開催され、最新の情報を交えた地域リハの現状と問題点について参加会員の体験談・意見交換など、有意義なひとときを過ごすことができました。

また研修会に引続いて総会が開催され、活発な討議が行われました。つきましては、議事録を掲載し討議・決議された事項をご報告致します。

<平成元年度定期総会議事録>

日時：平成元年2月11日

場所：柳の湯(青森県浅虫)

◎出席者：86名(うち委任状71)

会員数の3分の2以上出席にて総会成立

◎議長：櫻庭 満

◎書記：須藤恵理子

◎議事録署名人：楠美 有理

1. 第1号議案：昭和63年度事業報告……………承認

2. 第2号議案：昭和63年度会計報告……………承認

(別紙参照)

☆ 特別寄稿 ☆

弘前大学医療技術短期大学部作業療法学科 主任 二唐 東朔

皆様におかれましては、毎日の診療に、研究にお忙しいことと存じます。第7回生が理学療法士を目指して今春旅立ちます。一方において、第4回生迄の皆さんは、スーパーバイザーとして、後輩の指導に携わっている人も多いと思います。

理学療法の治療方針や、医学の進歩による技術の革新は患者にはもちろん理学療法士の皆様にも恩恵をもたらしており、それを診療の合間に吸収していかなければいけないわけで、時間の上手な使い方が要求されている状況にあると思います。これからのリハビリテーションは細胞膜の生理科学を主とする分子生物医学、大脳生理学に基づく運動機構の知識の増大、MRI、ポジトロンCTなどの画像解析により定量的に取り扱われていくことは間違いないことであり、この知識の吸収に遅れるならば、21世紀のリハビリテーションを乗り切れないと思います。昨年の中村隆一教授の「リハ」講演の中でも、現在のPTとOTのレベルではその進化が認められなくなるであろうと述べておられました。そして、今年の「脳のメカニズム—機能分子と記憶」のシンポジウムに参加してその感を強くした次第であります。

PTとOTの領域にはまだまだ研究しなければならないテーマが山積みしております。いかに、医科学的に扱うかが新しいリハビリテーションへの道であります。いよいよ意欲を盛んにして、取り組んで頂きたいと念じておりますし、ご相談にも応じる所存でありますから、お顔を見せてください、お待ちいたしております。ご参考までに、現在進行中の仕事を書きますと、上肢の痙性評価表、バイオフィードバックと把持力、トポグラフィによる脳内活動と視機能、運動機能などです。

☆ 私のページ ☆

今回は、以下の3名の方にお問い合わせ致しました。

第3回生 田中 明美 会員 (所属：埼玉県小児医療センター)

皆様、いかがお過ごしですか。

私、田中は、小児医療センターに勤務してもう4年になろうとしております。ここでの良き友魚であった、鯉の大三郎が神隠し—うわさでは、掃除のおじさん(この人は、センターの若木に巣をつくったツバメやスズメなどのヒナを、生きたままゴミ袋に捨ててしまうという、小児病院にまったく似つかわしくない、いまだきあぶないおじさんである)に、鯉の洗にされてしまったらしい—にあってからめっきり北風が身にしみるようになりました。

家に帰っては、10年来の友犬であったチビスケが、今年の2月4日に、心筋梗塞でこの世を去り、母は毎日の様に、見合い話を持ちかけます。

しかたなく、愛車のBMW(車種はホンダのワンダーシビック、群青色)に乗って、東山(ぬいぐるみのトラ猫、ジョリー、マンマなどというふざけた商品名をつけられていた)と一緒に、大洗海岸へドライブなどしております。

この様な私に、春は来るのでしょうか……。

第5回生 舎官山 祐子 会員 (所属：中嶋病院)

福島で生まれ、弘前で3年間過ごし、こうして仙台に住み始めて2年目になりました。私には仙台の空気が肌にあいすぎるようで、毎日元気一杯です。空き巣に入れ

でも、近所で通り魔騒ぎがあっても（これは狂言だったのですが……）めげずに、平気で夜遊び（と言うと語弊があるなあ……）してます。おっと、こんな生活が親に知れたら大変です。

でも、夜遊びのことについて、ちょっと説明させていただきます。なんと、この私が、62年の5月からエレクトーンを習い始め、同年の12月からは、アマチュアの劇団に入ってしまったのです。そのため、週3日は帰りが10時、11時になります。でも、疲れるどころか、かえってそれが私の原動力になって、毎日張り切って生活できているという感じがします。

福島で元気に生活している両親に感謝しながら、好きな事を好きな様にできるぜいたくな生活に、大満足しています。

第6回生 阿部 一弘 会員（所属：岩手県立磐井病院）

皆さん 元気でやっておりますか。

僕は元気ですが、最近胃に穴があきはじめているのか、キリキリ痛みだしました。かつては鶴田町で食いあらしたように、おにぎり6コはもう食べられません。

就職した半年前は、ハイスパートな毎日でしたが、最近、首をひねる毎日となってしまいました。中古の車（ワーゲンゴルフ……の予定だったが〇〇-〇IIになってしまった）を買い、まだ4万しか払っておらず、それで、三陸まででて、海岸線をふっとばすとストレスが晴れますが、公務員なので違反をおこさぬよう（おこしたい？）に注意しています。12月の暮れには、育英会にも年貢をおさめなければならないので、これがほんとうの火の車とでも言うのでしょうか。オチがついたところで、それでは、さようなら。

☆ 投書 ☆

紛失図書について

理学療法学科主任 三浦 孝雄

以前から理学療法学科の学生の図書館の蔵書の無断拝借が多く、又返却がされていないという芳しからぬ話を図書館職員から聞いていた。今迄雑誌のバックナンバーの紛失が少なからずあり、菅原教授在任中から私は学科のクラス担任を通じて学生諸君に注意しておくように伝えていた。しかし学科の教官は諸君を信用して、そんな筈はないとずっと私の意見は無視されていた。今回図書館で蔵書の点検を行ったところ、この話は風評ではなく事実である事が判明した。例えば理学療法学の不明図書数は63冊に対し作業療法学は僅か7冊であった。これに整形外科学49冊、リハビリテーション医学83冊、精神医学78冊、その他PT、OT分野の不明図書を加えた299冊に対して、看護関係の全ての分野の不明図書数は348冊であり、49冊しか違わない。これは学生の人数と開設の年数が違うことを考慮すると、PT、OT関係即リハビリテーション関係分野の不明図書数の多さを如実に示しているデータである。他の学科の教官からリハビリテーションに携わる者はそれなりのリハビリテーションの心とはやはり違うのでしょうかねと声をひそめられた。

雑誌のバックナンバーは必要度が高いので毎年のように当学科負担で補充を行ってきた。品切れの雑誌もあるので専門業者に依頼して、コピーで補填したものもある。お金

の事はいいたくないが1件あたり4万円から5万円はかけている。この努力にもかかわらず、またすぐ不明図書となってしまうのは情けないといおうか口惜しくもある。

前学科主任の菅原教授が諸君に伝えた筈のリハビリテーションの心がこの様な形で投げかえされてる現実には私はいう統へがない気がしている。それでもまだ希望は捨てていない。図書館への書物のリハビリテーションがなされる事を期待している。

☆ 卒業生就職先一覧 ☆

卒業生氏名	出身地	就職先	所在地
荒井 祐子	青森県弘前市	弘前記念病院	弘前市境関西田59-1
伊藤江里子	岩手県花巻市	鶯宿温泉病院	岩手郡雫石町畑第32地割榊沢265
上村佐知子	秋田県山内村	赤羽病院	東京都北区赤羽2-2-1
大坂 美雪	青森県上北町	未定	
鴨志田和恵	岩手県一関市	岩切病院	仙台市宮城野区岩切字稲荷38
工藤 康子	青森県車力村	黎明郷リハ病院	南津軽郡碓ヶ関村湯向川添30
工藤 義教	秋田県本庄市	湖東総合病院	南秋田郡八郎潟町川崎貝保37
古木名寿登	青森県弘前市	弘大附属病院	弘前市本町53
高橋 恵子	秋田県仙北町	板橋中央病院	東京都板橋区小豆沢2-12-7
土岐 浩志	青森県八戸市	西北中央病院	五所川原市布屋町41
畠山 幸也	秋田県鷹巣町	秋田労災病院	大館市軽井沢下岱30
広瀬 利佳	北海道北見市	網走厚生病院	網走市北6条1丁目9
船木 直美	秋田県男鹿市	外旭川病院	秋田市外旭川三後田142
本田 美恵	宮城県角田市	仙台市児童相談所	仙台市青葉区錦町1丁目3-9
村上 真弓	岩手県大船渡	東北労災病院	仙台市台原4-3-21
山内 美里	青森県浪岡町	黎明郷リハ病院	南津軽郡碓ヶ関村湯向川添30
村田ふじみ	青森県黒石市	いちい荘	青森市諏訪沢丸山72

5月8日(月)国家試験の合格発表がありました。我が弘大医短PT学科卒業生17名は、めでたく全員合格致しました。おめでとうございます。

尚、卒業生の分を含めた同窓会名簿は追って発行する予定ですのでもうしばらくお待ち下さい。

☆ お祝い ☆

◎ 結婚

山本 康弘(3期生) 3月12日 幸子さん
 尾田 敦(1期生) 4月29日 恵子さん
 小野 博明(3期生) 4月29日 美喜子さん
 畠山 優(3期生) 4月30日 江利子さん

◎ 誕生

栗林 輝生(1期生) 4月 5日 長男 裕太君

おめでとうございます!

※ 尚、尾田さんの結婚披露宴の様子が5月14日(日)にATVテレビにて放映されました。学科でビデオを保存しています。

☆ 私のページ ☆

今回は、以下の2名の方をお願い致しました。

第4回生 阿部 玄彦 会員 (所属：太田総合病院附属熱海総合病院)

グレコは今、福島県郡山市、熱海総合病院で毎日PTしています。スタッフ13名(RPT6名)、患者数は約200人(私は20人程担当)、患者層は脳卒中、整形外科疾患、神経筋疾患と様々です。職場には先輩の横島氏(2期生)がおり、良き相談相手となってくれています。

私も臨床2年半となり、病院内業務はもとより、地域リハへの参加、あるいは看護学生への講義及び実技、そして郡山市PT士会会長(会員は15名)という大役まで任され(実は横島さんの代役というだけですけれど)、PTとしての質の向上をはかっているつもりです。

ここまでの内容ですと、学生時代からは予測もつかないようにまじめな人間に変わってしまったんじゃないか、という誤解を招きそうなので、(特に4期生及び對馬先生には)“5時から男”編を報告します。

昔“ゼロタイガー”今はパチスロ。パチンコ屋への出入りの回数は昔も今も変わっていません。特に今は、パチスロで“777”が揃ったときの感動は、何とも言えません。(おかげで右の親指の皮が厚くなってしまいました。)

とまあ、仕事も一生懸命、遊びも一生懸命の私の姿が目に見えてくることと思います。4期生及び同窓生の皆さん、安心して下さい。グレコはグレコのまま、元気に頑張っています。

追伸：今年の8月に、竜飛に行ってきました。途中、西北病院で智格の顔でも見ていこうと思って寄ったんですけど、智格は休んでいました。智格も一生懸命なんだよね……。

第4回生 内藤 昭浩 会員 (新潟大学医学部附属病院)

何よりも「人並み」を好み、人と違うのを嫌い、良くも悪くも「常識型」で、平均的日本人であるとされる血液型：Aタイプ(同窓会員30名の一人です。)とは、僕の事です。前回、送ってもらった会報に各血液型の平均像が述べられていましたが、読んでいくうちに驚くほど当たっていたので、背中に寒気を覚えたのは僕だけでしょうか？

特にB型の平均像を読んでいくとすぐ頭の中で浮かぶ人がいました。(同期生の人であれば理解できると思うのですが……)

さて新潟の冬は？と申しますと、山の方だけ白くなっているのみで、平野部の方は、12月下旬にならないと本格的には積もりません。冬のスポーツであるスキーを楽しむ人にとっては待ちどおしい日々を送っていることではと思いますが、スキーができない人間にとっては辛い季節です。新潟にいてスキーができないのは恥だと思い、昨年挑戦してはみたものの膝を痛めてしまい、二度とできない身体になってしまいました？外にでて遊びまわった頃の自分は、遠く昔の頃のような気がしているのは自分だけでしょうか？この冬の間は、しばらくおとなしくしていようとする毎日です。同期生の人達とは、なかなか会える機会も少なく残念に思いますが、皆さんも健康には十分気をつけて、お仕事に励んで下さい。この場を借りまして、またいつの日かお遭いできる日を楽しみにしております。

残暑お見舞申し上げます！

皆様には益々ご活躍のことと存じます。

さて、日頃特産物を送って頂き、あるいはご持参頂き、誠にありがとうございます。お陰様で地方にいながら各地の味覚を楽しむことができ、教官一同感謝致しております。

事務の方々、あるいはOT学科の先生方からもうらやましがられ、教官みょうりにつきると思っています。日頃お礼状を出せないでいることをお許し下さい。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。研究室に同窓生も増えましたので、お気軽にお訪ね下さい。

それでは皆様お元気で。

教官を代表して 尾田、桜庭、藤田

☆ 特別寄稿 ☆

共 学

公立金木病院 小野 洋一

卒業生の皆さんお元気ですか。私は本年の3月をもち短大を退職し、現在公立金木病院に勤務しております。短大には、4年間在職しました。学生の頃の皆さんと共に勉強できた事を大学関係者は勿論のこと皆さんに深く感謝いたします。

病院勤務は久しぶりですので当初は相当時差ボケ？があったようで困惑がありましたが、最近（もうじき9月）多少慣れてきたみたいです。仕事は毎日毎日患者さんと「ワハハ、オホホ」と馬鹿話をして笑っているだけで、すぐに適応できましたが、PTの仕事そのものより、その他の雑用に慣れるのに苦労しました。もともと馬力のあるほうでは無かったので、9T05の生活が体力に見合ったものとなりました。お蔭様で私の胃もすこぶる調子良く、今夏はまた一段とビールの消費が順調でありました。私事を諄々書き列ねましたが、頗る元気というこであります。

さて今年は弘前医療技術短期大学部理学療法学科開設10周年に当たる記念の年であります。卒業生、在校生合せて10学年が学科を飾っているわけです。この節目の年に、卒業生、教官それに在校生がそれぞれの立場で理学療法の想いを語りあえるような「場」が欲しいと思っているのは私だけではないと思います。そのためには、私の様に9T05の生活に満足していないで、アフター5は研究室に集り酒を飲もう。もといアフター5は研究室に一人でも二人でも集り、想いを語り合おうではありませんか。PTは人、患者も人、研究も人、人が集まらなければ始らない。

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

... (mirrored text) ...

Form with fields for name, address, and phone number.

✓第5号議案：選挙管理委員の選出

現選挙管理委員（栗林、他2名 中西・河原は役員に選出され空白であった）の任期満了に伴い、郵送投票の開票を役員会において行った（有効投票 31票）。

結果は以下の通りであるが、実に27名の候補があげられた。

開票結果

《当選》	栗林 輝生	9票	<次点>	後藤 明教	7票
	三上 雅史	8票		佐藤比呂子	7票
	古木名寿登	8票			

☆お知らせ☆

今年度は、理学療法学科開設10年の節目であります。学科では来る10月27日に10周年記念の催しを計画しており、同窓会にも打診がありました。役員会としては、参加の方向で、費用を一部負担する等検討しています。

その際、臨時総会も同時に開催したい所存ですので、予定にいられておいて下さい。尚、当日は、三浦教授の講演会が予定されております。詳細は次号の News に掲載致しますので楽しみに！

☆転出☆

'84年から6年間にわたって御尽力頂いた進藤伸一先生が、地元秋田へ帰られることになりました。4月からは、新設される秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科に助教授として勤務されます。

進藤先生は、運動療法学自主ゼミナールの顧問でもあり、アットホームな先生宅で、時間を忘れて語り合った学生も多いことと思います。

弘前の地から離られることはたいへん寂しいですが、地球が青い限り、地面は続いているので、どこにいても共に頑張っていきたいものです。御健康をお祈りしております。

☆御卒業おめでとうございます☆

平成元年度も終わり、今年も我々の仲間が社会人への第1歩を歩み始めました。

去る3月23日(金)に、弘前大学医療技術短期大学部の平成元年度卒業式が挙行され、第8期卒業生19名がめでたく卒業されました。

今年度は男9名、女10名で、地元へ帰られる方々が多かったようです。何はともあれ、短大での3年間（あるいは4年？）の苦しかったことや楽しかった思い出を胸に秘め、理学療法士として旅立った19名の卒業生の皆様に、先輩としてお祝いを申し上げるとともに、健康で御活躍されることをお祈りし、そしてまた同窓会への加入を心より歓迎致します。

現在、同窓生は129名ですが、卒業された方々が全員入会されますと、会員数は148名となります。

卒業生のみなさん、是非入会して下さい。会員一同お待ちいたしております。入会届は同窓会事務局まで郵送し、入会金及び年会費は郵便振替用紙を用いて納入期限（6月末日）までに納入して頂きますようよろしくお願い致します。

尚、第8期卒業生の出身地、及び就職先を付記しましたので、会員名簿追加発行（8月頃を予定）まで、名簿の一部としてご使用頂ければ幸いです。

☆私のページ☆

今回は、新進気鋭第7期生の2名の方をお願い致しました。

第7回生 上村 佐知子 会員 (所属: 医療法人社団埴原会赤羽病院)

就職してはや3ヵ月。仕事も少しずつ慣れてきましたが、毎日毎日がとても早いです。

私の働いている病院は、主に老人が多く、整形外科疾患か脳卒中の患者がリハビリテーションの対象となっています。特に変わった疾患の患者が少ないこともあり、最初の頃と比べて甘えが生じてきて、特に整形や脳卒中の患者の訓練はマンネリ化し、ふっと、こなす訓練をしている自分に気付くことがあります。

同病院で一緒に働いていらっしゃる2期生の金沢先生に、よく「プロなんだから自信を持ってやりなさい。」と言われるのですが、勉強してないから自信がないのが表れるのではないだろうかと自分で思っています。だから、たとえば、よくわからない疾患の患者が来たら、その時は平気な顔でオリエンテーションしても、その後一生懸命勉強して、訓練できるように、自信のない部分を少しずつ減らす努力をしたいと思っています。

第7回生 工藤 義教 会員

(所属: 秋田県厚生農業協同組合湖東総合病院)

そろそろねぶたの時期となり、弘前がなつかしく感じられる今日このごろ、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この度7期生の工藤が近況をお知らせいたします。今ではSunちゃんと呼ばれることが少なくなった私は、この春、無事国試に合格し、秋田県にある湖東総合病院に就職しました。毎朝、秋田から八郎瀧までの40分の道のりを、弘前の厳冬期を3年間制覇したスクーターを卒業し、オンボロゴルフで通勤しています。この病院はなかなか居心地が良く、大変気に入っていますが、周りが田んぼばかりで遊ぶところがないのが玉にキズです。この前、秋田県に就職した7期生の仲間と、初心を忘れないため、勉強会なるものを発足し、英文抄読に取り組んでみました。そこまではよかったのですが私をはじめ英語を苦手とする者ばかりでしたので、悪戦苦闘、前途多難ではありました。が、集まるだけでもなかなか有意義なものであり、今後は苦痛にならない程度でこの会を進めようと思いました。とまあいろいろある毎日ですが、今いちゆとりを持たずに過ごしています。早くゆとりのある生活をしたいものです。(1989.7.13)

以上



第1回生 尾田 享 会員 (所属: 弘前大学医療技術短期大学部)

皆さんこんにちは。4月より大学病院から弘前医療短大に戻り、医療職から教育職になって約4ヶ月がたちました。現在学校は夏休みで少し暇になったのでこの原稿に手をつけました。

ところで私は昭和37年2月27日生まれ27歳、医短にきて間もない4月29日みどりの日に結婚式を挙げました。実は知り合ってから結婚までは約10ヶ月という比較的短い恋愛時代を経ての結婚であります。新婚旅行はハワイで約1週間の楽しい旅行でした。旅行帰りの学校では学生に冷やかされながらも楽しく毎日を過ごしています。

一日の生活リズムは独身時代よりも規則正しくなり、朝は6時半起きて夜は11時には寝

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

（高野聖）
（高野聖）
（高野聖）

るという状況ですが、このところ妻は在胎13週（8月2日現在）で悪阻がひどく、時には夜中でも苦しんでいる様子です。そのため最近は余り眠れず、学校でも『眠い』という言葉を聞かない日がないとよく言われています。

またかつてほど遊ぶお金もないので、仕事が終われば素直に家に帰ってきっちり食事をしていますが、いつまで続くやら、ストレスが貯らないように大いに手抜きをしながら地道に頑張ろうと思っている今日この頃です。近くに来たときには是非顔を出して下さい。

ではまた会う日まで。Good bye !

☆ お祝い ☆

◎結婚

草野 公俊（4期生） 6月25日（智子さん）

おめでとうございます！

☆ 同窓会会員の意識調査アンケート集計中 ☆

以前6月にお願いした同窓会に対する会員の意識調査についてのアンケートについて、8月1日現在 90/129名の回答が寄せられました。回収率は 69.8% となっています。

同窓会に対する関心が高いことにホッとするとともに、さらに向上めざして頑張らねばと気を引きしめています。結果は次号でお知らせします。

御協力ありがとうございました。

☆ 移動届提出について（名簿作成委員会からのお願い） ☆

今年度は同窓会名簿の発行年度となっておりますが、同窓会事務局では会員の皆様の移動等が多く把握しきれない状況にあり、発行が遅れております。つきましては既存の同窓会名簿をもう一度見直して頂き、それ以降変更のあった方、または誤りのある方は、御面倒でも移動届を事務局名簿作成委員会宛に郵送お願い致します。また、会員のデータベース作成にも支障を来している状況です。移動届の用紙をお持ちでない方は連絡をいただければ発送致しますが、今回に限り以下の項目についてお知らせ頂ければ特に様式は設けませんので宜しくお願い致します。

尚、名簿発行は10月前後の発行を目標にしていますので、勝手ながら移動届提出のメ切を9月16日必着とさせていただきます。

- | | | | | | |
|---------------|-------------|------------|---|------------|---|
| フリガナ（カインシメイ） | ⑤部局名（部・科名）： | ⑧居住地郵便 〒 | ： | ⑩卒業論文題名 | ： |
| ①会員氏名 | ： | ⑥勤務先郵便 〒 | ： | 居住地現住所 | ： |
| ②性別（男・女） | ： | 勤務先住所 | ： | 居住地連絡先 Tel | ： |
| ③生年月日 | ： | 勤務先 Tel（内） | ： | ⑨入学年 | ： |
| フリガナ（ヒョウインメイ） | ⑦施設区分、患者層 | 卒業年 | ： | ⑬既婚：1 未婚：2 | ： |
| ④勤務先（病院名） | ： | 第○期生（卒業） | ： | 結婚年月日 | ： |
| | | | | 旧姓 | ： |

☆ 会費納入について ☆

前回のニュース発送時に同窓会費用の振替用紙を同封致しましたが、まだの方は早急に会費の納入をお願いします。皆様からの会費が滞納されますと会の運営に支障を来すことになりますので宜しくお願い致します。

☆ トピックス ☆

— 9月2日(土) 関東周辺より —

定例研修会後、短大10周年記念関東地区祝う会が盛大に催されたようです。すごいですね。

■ 訂正 ■

前号(Apple Road No25)に掲載しました『お祝いコーナー“誕生”』で、栗林さんの長男「裕太」君は、「祐太」君の誤りでした。お詫びして訂正致します。

編集後記

朝夕涼しくなってきましたが、まだまだ残暑の厳しい今日この頃皆さんいかがお過ごしですか。今年度より年4回の発行で、お目にかかる回数が少なくなり、寂しい限りです。(内心は切手貼り、封筒貼りから若干解放されて、ホッとしてたりして…)

同窓会員の意識調査では、7割の回答が寄せられました。正直なところ、年度末の総会・懇親会で見渡す顔ぶれは、年々10本の指の数に迫る勢い(?)で、どうなることやらと思案していました。“故郷は遠きにありて思ふもの”なのかも知れません。調査結果を生かし、ネットワークの強化を図っていきたいと思います。

尚、今回のニュース、どこか今までと違うと思いませんか?。実は、今回のニュースの編集は、日本語ワープロ『一太郎 Ver 4.20』(最新バージョン)を使用いたしました。まだ操作が慣れないため、いまいち効率が悪く、思ったようにはいきませんでした。皆様のご感想はどうでしょうか…?!

広報部長：河原優美子

広報部員：後藤 明教 櫻庭 満 菊池 香 荒井 祐子

編集協力：尾田 敦

☆ “意識調査” 特集 ☆

本年 6月12日付け発送の“同窓会会員の意識調査”アンケートの集計ができましたので結果をご報告いたします。

尚、前号 (No. 26) のニュースでの回答数 90 (回答率 69.8%) は、下記の通り修正させて頂きますのでこの場を借りてお断りいたします。

(87/129名, 回答率: 67.4%)

同窓会事業について (Q3~5)

Q3) 同窓会が実施した事業に参加したことがあるか

参加したことがある — 55人 参加したことがない — 29人
無回答 ————— 3人

Q4) 参加しない、または、参加できなかった理由

仕事、私事などで時間的余裕がないため
開催地が遠距離なため など

Q5) ①参加した事業は何か

菅原教授退官記念事業、研修会、懇親会、総会の順で多かった

②事業に参加して良かった点は何か

学生時代の友人、恩師に会えること
会員との情報交換ができること など

③事業に参加して不満であった点は何か

事業の目的がはっきりしていないこと など

同窓会入会金・年会費について (Q6, 7)

Q6) ①入会金 (¥1,000) の額について

適当である — 67人 不适当である — 5人 わからない — 12人
その他 ————— 2人 無回答 ————— 1人

年会費 (¥2,000) の額について

適当である — 66人 不适当である — 8人 わからない — 9人
その他 ————— 2人 無回答 ————— 2人

Q7) 会費の支払期間について

一生払い続けなくてもよい ————— 35人
一生払い続けるべき ————— 24人
わからない — 24人 その他 — 4人 無回答 — 0人

総会・研修会について(Q9, 10)

Q9) ①会員が出席しての総会を毎年開催すべきか

毎年開催すべき ——— 29人 毎年開催しなくてもよい ——— 31人
わからない — 18人 その他 ——— 6人 無回答 ——— 0人

③総会開催場所の選定にもっと会員の意見を取り入れるべきか

もっと会員の意見を取り入れるべき ——— 48人
その必要はない ————— 19人
わからない — 17人 その他 ——— 1人 無回答 — 2人

④総会と研修会が同時に開催されていることについて

現状のままでよい ——— 53人 分離した方がよい ——— 6人
同時開催・分離開催のどちらでもよい — 20人
わからない — 6人 その他 ——— 0人 無回答 — 2人

⑤総会について気づいた点は何か

参加者が少なく活気がない
総会前に出席困難な遠隔地会員の声を聞いてほしい など

Q10) ①今後も研修会の開催を継続した方がよいか

継続した方がよい ——— 64人 継続しなくてよい ——— 7人
わからない — 12人 その他 ——— 3人 無回答 — 1人

③どのような形式の研修会に参加したいと思うか

講師による技術指導
講師による講演
シンポジウムなどの討論 など

④研修会のテーマは、これまで理事会と研修会準備委員会の話し合いによって決定されてきましたが、これについてどう思うか

現状通りでよい ————— 30人
もっと会員の意見を反映させて決定してほしい ——— 32人
会員に希望をとり、希望数が多いテーマにすべきである — 18人
わからない — 5人 その他 — 2人 無回答 — 0人

⑤研修会について気づいた点は何か

参加者が少ない
同窓会で研修会などの学術的なものは不要 など

広報について (Q11)

Q11) ① 広報を読んでいるか

読んでいる — 79人 読んでいない — 1人 時々読む — 4人
その他 — 1人 無回答 — 2人

② どのような読み方をしているか

全部読む — 63人 興味のあるところだけ読む — 8人
項目だけ目を通す — 3人
項目に目を通し必要などところだけ読む — 11人
その他 — 0人 無回答 — 2人

③ どの記事に興味があるか

会員の近況報告, 母校についての記事, 会員の移動, 事務連絡 など

④ 今後掲載してほしい記事

学生からの一言
経験談, 失敗談
会員の学会での演題発表者名及び演題名
誌上討論 など

その他のことについて (Q12~15)

Q12) 在校生を準会員とする事についてどう思うか

賛成 — 59人 準会員の資格はない — 6人 わからない — 5人
その他 — 5人 無回答 — 2人

Q13) 今後行なってほしい事業は何か

各支部を作る事
研究発表会
作業療法学科との交流 など

Q14) 同窓会活動に対する意見

会員の増加に対応できる体制作りが必要
同窓会事業は必要最小限のものでよい
理事の任期を限定し, 活性化を図るべき など

以上のアンケート結果をもとに, 現在理事会の方で今後の方針について検討中です。

☆ お祝い ☆

◎ 糸吉女昏

館山 智格 (4期生) 10月28日 (ちか子さん)

おめでとうございます!

☆ トピックス ☆

関東地区同窓会々員有志一同による 弘大医療短大理学療法学科開設十周年を 祝う会を催して

関東地区研究会準備事務局

東京女子医科大学病院
東京都済生会中央病院

古川 雅一
石田 秀雄
田畑 稔

前略

全国の同窓会々員の皆様方お元気でしょうか?。よくアップロードをお読みの方は御存知でしょうが、こちら関東地区では定例の研修会を行っています。そこで今回は弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科十周年を記念して菅原先生を東京へお招きして、当研究会に参加して頂き、ささやかではありますが学科開設十周年を祝う会を催すことになりました。

定例の研究会はII期生の内村さんに『大腿義足のソケットに関する諸問題』ということでスライドを交えて臨場的な立場から様々な意見を述べて頂きました。当日の参加者は、17名でいつものメンバーではありますが、参加者一同より菅原先生へ記念品を贈呈後、研究会を終了し、学科開設十周年を祝う会を新宿駅前の居酒屋“天狗”(別名体育館とも呼ばれている)にて開催しました。この中で菅原先生は「弘大十周年の成果を上げるのも、君たちの努力次第である。」というお言葉を頂きました。菅原先生は翌朝のANA便で帰秋しなくてはならなかったため、11時頃にお開きになりましたが、一部の有志は朝まで“祝う会”を行っていたそうです。翌朝、羽田の出発ロビーにはそのせいもあって香川先生をはじめ9名もの方々が菅原先生のお見送りに同行して頂きました。

今回、学科開設十周年を祝う会を勝手ながら東京で行ってしまいましたが、菅原先生は大変お喜びになってお帰りになられ、学生自分あまり勉強せずよく菅原先生を悩ませたであろう我々も若干でも恩返しが出来たのではと勘違いしている今日この頃です。

☆ 移動届提出について(名簿作成委員会からのお願い) ☆

同窓会名簿第4号を同封しました。記述に誤りのあった会員は速やかにご連絡をお願いします。前号において、移動のあった方の連絡をお願いする旨の記事を掲載しましたが、実のところ連絡があったのはごく少数で、連絡のなかった会員については事務局の方で電話連絡等にて確認をとらせていただきました。今後はできる限り速やかな連絡をお願いします。

もし長期にわたり連絡がなかった場合は、会報等同窓会に関する事務連絡などの発送物は一切中止し、最悪の場合は同窓会会則(第7条及び第29条)に従って、除名されることになります。

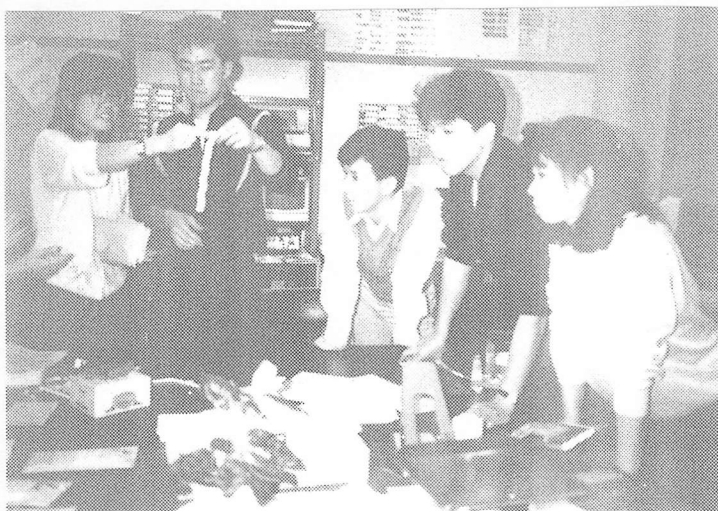
今回、名簿発行の機会に事務局のデータベースの見直しも行いましたが、一部の会員に不備な部分があり、もう一度移動届を提出していただきたいと存じます。移動届の同封されている会員は、事務局の苦勞をご理解の上、ご返送をどうぞよろしくお願いいたします。

同窓会 News 発送作業場面

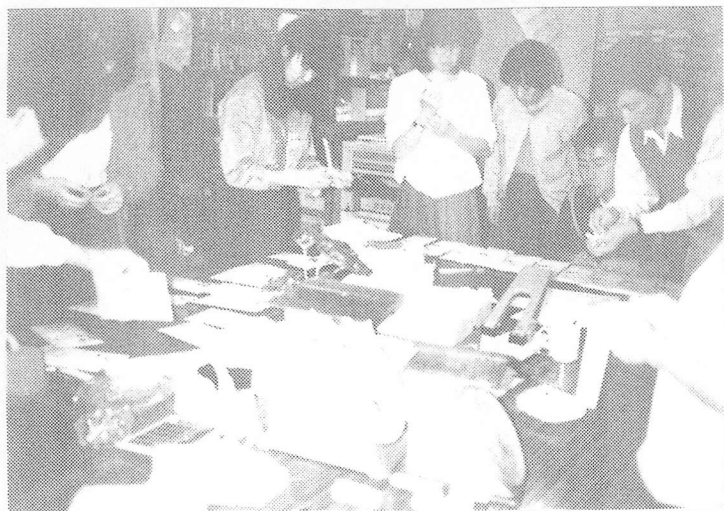


同窓会 News の印刷・綴じ方終了。いかに効率良く封筒に入れ、切手を貼るか、指示をするヒロ子さん。短大の机はボロくて、3人はひたすら机をおさえています…。

「切手の貼り方は、こうするのヨ」…。3人はひたすら机をおさえています。



作業はスムーズに流れます…。



ところが、ミス発生！「またやり直しか…」ブーたれる河原さん。こうして夜は更けていきます…。

皆さん、一字残さず読んで下さいネ!!。

編集後記

▼ めっきり寒くなり、青空がさえわたるなか、紅葉のすそ野をひいた岩木山が薄化粧する季節となりました。

▼ 先日、福島県の県立医大で東北学会が開かれました。内容もさることながら、1期生から7期生まで懐かしい顔ぶれが集まり、しばし、今昔話(?)に花が咲きました。

▼ 今回のニュースは「私のページ」はお休みし、同窓会アンケートの結果をお知らせします。

研修会・総会の開催について、賛否両論、約半々の回答であり、テーマ、会場とも、会員の増加に伴い、その運営も大変になることが予想されます。同窓会員一人一人が会の運営に参加する姿勢で、御理解・御協力をお願いしたいと思います。

▼ 広報では、ほとんどの方が読んでくれているようで、力づけられました。今後は学生からの一言、臨床での経験談・失敗談など、学生と就職した先輩との橋渡しとしても情報を載せていきたいと考えています。

▼ 忘年会のシーズン、くれぐれも失敗談が増えないように、と願って…よいお年を！

(…広報部長のひとり言)

広報部長：河原優美子

広報部員：後藤 明教 櫻庭 満 菊池 香 荒井 祐子

編集協力：尾田 敦

☆ 紙上総会の開催にあたって ☆

会長 石川 玲

同窓会が発足してもうすぐ10年を迎えます。会員数の増大に伴って多くの会員の意見を総会の場で求めることが年々困難となり、そのため今年度は、今後の同窓会運営の土台を築くことを目的に意識調査を実施いたしました。その結果、総会や会員のあり方、研修会の開催などについて、前号のニュースでお知らせした通り、会員諸氏の間でも様々な意見があることを知ることがわかりました。理事会ではこれらの意見をもとに今後の同窓会運営のあり方について討議を重ねて参りました。しかし、将来的な礎を築くためにはさらに討議を継続する必要があります。そのため今年度は主だった事業の開催を控え、総会も紙上で行うことを理事会にて決定致しました。会員諸氏におかれましては、これらの点についてご理解頂き、今回の紙上での総会にご協力下さいますようお願い致します。

☆ 1989年度紙上総会議案 ☆

I 第1号議案：1989年度事業報告

1. 会員数 129名 (新入会員17名)
2. 理事会の開催 (4回)
3. 意識調査の実施及び意識調査の集計と会員への報告
調査結果に基づき、同窓会運営の今後のあり方について理事会で継続審議中
 - A. 総会の開催について
 - B. 会費の支払いについて
 - C. 準会員の扱い
4. 会員名簿の発行
5. 会報の発行 (Apple Road No.25~28)
6. 慶弔電報発信

II 第2号議案：1989年度決算報告及び会計監査報告 (別紙参照)

III 第3号議案：1990年度事業計画

1. 総会の開催
 - 1) 今後の同窓会運営方針の確立
 - 2) 規約改正 (1)に伴う)
 - 3) 役員選挙
2. 会報の発行 (Apple Road No.29~32)

日 時 1998年10月10日 (日) 係
会 所 (日) 富山県
富山県立富山大学
富山県立富山大学
富山県立富山大学

富山県立富山大学
学生会

1998年10月10日

No. 28

★ 第28号 学生会 学生会 ★

学生会 学生会

学生会は、富山県立富山大学の学生、教員、職員、および関係者のみなさんによる自治の団体です。富山県立富山大学の発展と、富山県立富山大学の学生、教員、職員、および関係者のみなさんの生活の向上を目的として活動しています。富山県立富山大学の学生、教員、職員、および関係者のみなさんの生活の向上を目的として活動しています。富山県立富山大学の学生、教員、職員、および関係者のみなさんの生活の向上を目的として活動しています。

★ 学生会 学生会 ★

富山県立富山大学学生会

- (1) 学生会本部
- (2) 学生会本部
- (3) 学生会本部
- (4) 学生会本部
- (5) 学生会本部
- (6) 学生会本部
- (7) 学生会本部
- (8) 学生会本部
- (9) 学生会本部
- (10) 学生会本部

(注) 学生会本部は、富山県立富山大学の学生、教員、職員、および関係者のみなさんの生活の向上を目的として活動しています。

富山県立富山大学学生会

- (1) 学生会本部
- (2) 学生会本部
- (3) 学生会本部
- (4) 学生会本部
- (5) 学生会本部
- (6) 学生会本部
- (7) 学生会本部
- (8) 学生会本部
- (9) 学生会本部
- (10) 学生会本部

Ⅳ第4号議案：1990年度予算案（別紙参照）

Ⅴ第5号議案：選挙管理委員の選出

同封の葉書の要領に従って送付して下さい。また、非承認の場合は、その理由、質問等を葉書の余白にお書き下さい。

☆ 学生からの一言 ☆

今回は卒業を間近に控えた理学療法学科3年生のお二人に一言お願いしました。

五日市 克利（87PT03）（北海道砂川市出身）

「苦しい毎日を通して思うこと」

昨年の年初めに「後期の試験を無事にパスすれば、いよいよ長い臨床実習だ!」と感じたのを覚えています。この「いよいよ」という言葉の意味は「期待」というよりも、ほとんど全部「不安」という意味が込められていました。そして、その臨床実習がいつのまにか過ぎて今度は卒論の〆切り日が近づき、更に国試も間近ということで、また違った意味のより大きな「不安」を抱いているような気がします。私達がまだ2年生の時に、1期上の先輩たちが卒論と国試の両方に追われている毎日を目の前で見ていて、自分達も本当に出来るのだろうかと非常に心配でした。けれども今、こうして先輩の方々が経験されてきた日々を自分も過して見て、正直言えば、かなり辛いのですが、なんとか頑張っていています。この頑張りが出来るのは共に苦しみ味わっているクラスメートのおかげだと最近、痛切に感じています。自分がペースに乗れない時は仲間に励ましてもらい、逆に仲間が悩んでいる時には励ましたりもする。そんな関係の中から、クラスメート全員がお互い刺激し合って不思議なように団結力が高まってきます。そうしてより信頼関係が強いものになるからこそ、いつになってもクラスメートは本当にいいものだと思えることが出来るのだと思います。この3年間、テスト期間は非常に長く感じたけれども、その他短大での日々はあっという間でした。自分達の目標である国試まであとわずか2ヵ月、クラスメートと互に励まし合い悔いのないよう精一杯頑張りたいと思います。尚、自分を含めて最近、昼と夜の生活が逆転してしまっている人が多いと耳にします。健康管理にも十分注意してbestの状態为国家試験を迎えたいと思っている今日この頃です。

成田 さおり（87PT17）（青森県弘前市出身）

3年前の今頃（1月中旬）、弘大医短理学療法学科の受験を考え友人と2人で学内を見学したのを覚えています。見学といっても正規のものではありません。学務係を、見学の為に尋ねたところ「当大学では見学は許可していない」と、簡単に断られたのでした。

しかし、ここで手ぶらで帰っては「女が廃るわっ!」と二人で手を取り合い周りを見回し、素知らぬ顔で校内に潜り込んだのです。当時はまだ土足厳禁であった為、靴を脱ぎそれを隠し持ち、裸足で冬休み中で生徒の少ない校舎の中をこそこそと走り回っていました。たあい無い事にとっても情熱的であったように思います。理学療法学科のある棟を覗きましたが、エレベーターには驚かされました。

今、あの時と同じ時期を迎え改めて考えてみると、3年前の私達がこそこそと走り回っていた時、今の私達の様に「身も心も」「卒論」や「国試」の勉強に費やしていた先輩方が同

はじめに、この研究が、... (text continues)

(長崎市立総合資料館) (昭和19年) の研究

この研究は、... (text continues)

1930年8月31日現在 (昭和5年)

(長崎市立総合資料館) (昭和19年) の研究

この研究は、... (text continues)

じ校舎内にいたかもしれないのだと思うと、時の流れの早さ、人の変化とというものの不思議さが込み上げて来ます。

医学的な知識などほんの少ししか持てなかった私が、何を知る為には何を何処で知るべきだと知っているのです。素晴らしいことだと思います。

あの3年前、無邪気に、しかし情熱的に何かを求めて校内を走り周っていた私が、今はこうして臨床の場に飛び立つべく着々と準備を進め、たとえ待ってくれと言っても「時」は容赦なく刻一刻と進んでいるのです。

臨床の場に出たとたん、今までの甘えは通用しないでしょう。しかし「愛があれば、何でも出来るはずだ」と、臨床実習で強く心に刻んだ私は、自分の可能性を信じ、とことんそれをぶつけてみたいと思っています。

3年前の新鮮な気持を今度は臨床に持って行こうと思っている二十歳の私です。

☆ おめでとう ☆

◎ ご系吉女昏

福田 淳 (6期生) 平成元年9月 (尚志さん)
(旧姓: 高橋)

※前回のニュースに記載漏れでした。

クリスマスには愛娘 遙 ちゃんが誕生しました。

阿部 雄彦 (4期生) 平成2年2月12日 (弘子さん)

◎ ご誕生

福田 淳 (6期生) 平成元年12月25日 (長女: 遙)

尾田 敦 (1期生) 平成2年 1月18日 (長女: 望)

後藤 明教 (1期生) 平成2年 2月 4日 (長女: 裕紀子)

おめでとうございます！ お幸せに！

編集後記

- ◆ 今年度は紙上総会となります。また、選挙管理委員の選挙もありますので面倒でも同窓会名簿をひっぱり出して下さい。何卒、内容を熟読の上、必ず返送して下さいよう、宜しくお願い致します。
- ◆ 今回は、卒業、国試を目前に控えた学生さんに忙しい合間をぬって原稿をお願いしました。臨床を前にしての不安と期待、また、苦楽を共にした学友との別れ…… 複雑な思いを胸に、将来へひた走る卒業生に、先輩一同エールを送っています。先輩同窓生からも励まし、アドバイス等たよりを頂ければ幸いです。

広報部長: 河原優美子

広報部員: 後藤 明教 櫻庭 満 菊池 香 荒井 祐子

編集協力: 尾田 敦

☆ 1989年度定期総会 議事録 ☆

同窓会の運営方針の見直しに伴って、今回は紙上総会とし、会員129名中54名、42%の回収率でした。

あらかじめ、送付されない場合は全て承認とみなすことを明記してありましたので、ご了承下さい。

去る、3月17日の役員会において、議事承認の是非の確認及び選挙管理委員の選挙を行いましたのでその結果をご報告致します。

< 議事録 >

◎回収枚数 会員 129名中、54枚（無効1通）

I 第1号議案：1989年度事業報告 …………… 承認：53

◆準会員の定義は？

- ・弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科に在学中であること。
- ・会費の納入義務はない。

以上の条件をもとに、在学中から同窓会活動の内容を知らせ、同窓生と在校生の縦のつながりを築いていくことを目的とする。

具体的には、全学生に会報を配布し、情報を提供する。

同窓会運営方針の確立に伴う、規約改正のなかで取り入れていく予定である。

II 第2号議案：1989年度決算報告及び会計監査報告 …………… 承認：53

◆訂正とお詫び：<収入の部>において、'88会費 ¥2,000 は、¥4,000 の誤りであるとの指摘をうけた。会費全体の決算額には相違ない。

◆第1号議案の文面より、慶弔電報の枚数を問う質問があった。

これは、決算報告のなかに明示してある（祝電7件）。

III 第3号議案：1990年度事業計画 …………… 承認：53

◆規約改正、役員選挙に伴って、会報の発行を年5回（No.29～No.33）とすることを確認した。

IV 第4号議案：1990年度予算案 …………… 承認：52、非承認：1

※非承認の理由・質問等は記入されていなかった。

◆会計より：前(々)年度会費未納分については、今年度会費徴収分と一緒に、原則として郵便振替で納入することをお願いしたい（振替用紙同封）。

☆私のページ☆

今回は、老健施設で頑張るPTの代表として、村田ふじみ会員にお願いしました。

第7期生 村田 ふじみ 会員

(所属：社会福祉法人諏訪ノ森会老人保健施設いちい荘)

Apple Road を読んでいる皆さん、こんにちは！

私は現在青森市にある「老人保健施設いちい荘」に勤務しています。老人というと暗いイメージを持つ人もいるかも知れないけど、私の場合は『How 老健がトレンドィー ！』
と思いこんで仕事をしています。

いちい荘は、定員100床のうち、65床が「痴呆性老人」、35床が「寝たきりに準ずる状態」の老人が入所しています。

仕事の内容は、PT業務と介護業務（食事介助、排泄介助 etc）が半々といった感じです。痴呆性老人中心の施設で仕事をしていると、「ん…!？」がいっぱいあります。その中からいくつか御紹介しますと……

その1 痴呆老人はどこでも便所にする（放尿）

昔は屋外です仕事が多く、便所という概念がなかったらしい。加えて、痴呆老人はなかなか便所の場所を覚えられない。というわけで、痴呆老人は施設全体を便所にしてしまいます。廊下を歩いていて「ん!? なんか床がキラキラしている…」と思って近づいてみると、それは『おしっこ』なのです。

その2 痴呆老人は何でも食べる（異食）

痴呆老人は食事をしていても、すぐ忘れてしまって、いつも「ハラ へった…」と言ってます。で、何でも食べてしまいます…。

「ん…!? なんか口をもぐもぐさせている…」と思って、口の中を見ると、それはトイレットペーパーだったり、葉っぱだったり、乾燥剤（お菓子に入ってる）だったり、ゴザをむしったのだったり……

その3 痴呆老人は自分のおかれてる状況がわからない（失見当）

痴呆老人は自分が施設にいるなんて思っていない…

「ん…!? なんかおこっているな…」と思ってみると、私を見てる…『どして、おばちやの いうごと きがいねべ!!』(注：津軽弁)… 職員を娘だとか孫だとかに思っているのです。

叱られた私は、「はい、ごめんなさい」と孫になりきって、叱られています。

(私って、叱られやすいタイプみたい…)

ま、こんなふうに、痴呆老人はいっぱいヘンだけど、なぜか憎めない、じーちゃん。ばーちゃんたちです。

どうでしたか？ 広報部では、「私のページ」をはじめ、「THE だんな」「THE 主婦」など、既存のコーナーに加え、皆様に楽しんでいただけるような企画を考えていきたいと思っておりますので、今後も是非ご愛読の程よろしくお願いいたします。

尚、原稿依頼のあった方は、期限を守ってご返送して下さいませよう重ねてお願いいたします。

(広報部より)

☆ 会計係からのお願い ☆

～平成2年度会費納入について～

平成2年度の会費納入の時期がまいりましたので、同封の振替用紙を使い、記入されている額を振り込んで頂きますようお願い致します。尚、滞納者につきましては、概ね以下のような手順で請求などを行うこととなりますので、お気をつけ下さい。

- ①会費は当該年度の **6月末日** までに納める。
- ②当該年度終了後においても未納の場合は、督促状を発送し、納入催促をする。
- ③当該年度終了後2年以上の滞納の場合は、納入督促を再々度行い、応じない場合には退会勧告を行う。
- ④当該年度終了後3年以上の滞納の場合には、理事会の決議により除名する。
- ⑤尚、年会費は2,000円とする。

☆ 庶務係からのお願い ☆

平成2年度になり、転勤等で勤務先や現住所が変更になった方々、至急事務局まで移動のご連絡をお願いします。移動の連絡がない場合は、同窓会発行のニュースその他の書類等が配達されずに返送されてくることとなります。その際は再発送致しませんのであらかじめご了承下さい。移動の連絡は『同窓会移動届』を使用して下さい。

また、ご結婚なさる方、同窓会より祝電を打ちますので日時、場所、相手方のお名前をお知らせ下さい。さらにご出産された方々はお子さんの誕生日とお名前をお知らせ下さい。追ってニュースに掲載致します。

編集後記

◆ 2回目の紙上総会、続（々々…あとが続かない）としか返ってこない葉書の束を前にして、某庶務役員が“こんなもんかしらねえ…”裏を返して、選管の推薦欄に役員の名前が多いのを見て“役員も知らないのか！ええ～い、総辞職だ！！”と、数日間、嘆き悲しんでいるのを見て、私も胸を痛めていました。今はどうやら気を取り直して開き直っていますが、是非とも皆さん、お忙しいこととは思いますが、今一度面倒がらずに同窓会ニュースをひっくり返して見て下さいネ。寝る時間を削って、自らむち打ってモチベーションを高めてやってる人間もいるのですから…。春だというのに歳をとるとどうもグチっぽくていけません…。

◆ 今回は、私のページを4名程お願いしていたのですが、音信不通…(?)により、事務連絡のみになってしまいました。味気なくてごめんなさい。

◆ 世の中は、もうすっかり春、別れと、そして出会いの季節であります。皆さん、公私ともに頑張らしましょう！

広報部長：河原優美子

広報部員： 櫻庭 満 後藤 明教 三上 一貴 荒井 祐子
 土岐 浩志 菊池 香 (編集協力：尾田 敦)

☆ 理学療法学科創立満10周年記念セミナー ☆

前号でもお知らせ致しましたように、理学療法学科創立10年が過ぎ、理学療法学科及び同窓会の共催で、創立満10周年記念セミナーを計画し、準備を進めておりましたが、諸々の都合により、開催日時が10月27日から10月20日に変更になりましたことをお詫び申し上げます。何卒ご了承頂きたくお願い致します。

さて、セミナーの内容ですが、学科主任三浦孝雄教授の記念講演と、前主任教授（現外旭川病院院長）菅原正信先生の特別講演に加え、ナイトセミナーとして教官（及び教官OB）と卒業生（同窓生）とが一緒になってこの10年間をなつかしみ、将来を展望できるような企画のテーマを募集しています。詳細なプログラムは別紙案内をご覧ください。また、出張許可願いの公文書を同封致しましたので、必要な方はどうぞ活用下さい。

つきましては、同封の葉書にて、参加の有無を9月14日まで（当日消印有効）にご投函頂くようお願い致します。詳細が決まり次第 News に掲載致します。

さあ是非体調を整えて参加し、10月20日の夜は朝まで語り明かそうではありませんか！

セミナー実行委員長：伊藤日出男 副委員長：尾田 敦
実行委員：三浦 孝雄，近江 洋一，對馬 均，
青木 主税，櫻庭 満，藤田智香子（以上PT学科教官）
石川 玲，後藤 明教，楠美 有理，
勘林 秀行，古木名寿登，村田ふじみ（以上同窓会会員）

☆ 特別寄稿 ☆

秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科助教授 進藤 伸一
（元 弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科）

この4月から、新設された秋田大学医療技術短期大学部で働くことになりました。

弘前では、多くの方々のお世話になったので、お礼を忘れてはならないと思い、どんな方々にお世話になったのか、改めて考えてみました。お恥ずかしい話、そのとき初めて、私は誰にもまして、学生たちにこそ一番世話になったのだ、ということ「発見」したのです。

弘前時代の私の人生目標を決めてくれたのも、教師という仕事の恐さと大切さを教えてくれたのも、そして楽しい思い出をたくさん作ってくれたのも、みんな学生たちのおかげだったのです。そのことを、卒業式の後のティー・パーティーで話す機会があったのですが、卒業生にはどうやって伝えたらいいのだろうか、と困っていたのです。そうしたら、この一文を書く機会ができました。改めて、同窓生の皆さんにもお礼を言いたいと思います。

皆さんと同じく、教師として一人立ちできるように育ててもらったという点では、私も弘前大学医療短大の「卒業生」なのです。勤務先は変わりましたが、これからも同じ短大の「卒業生」として、母校の益々の発展のために、貢献しあおうではありませんか。

☆私のページ☆

今回は、山平 斉（5期生）、齋藤 圭介（8期生）会員にお願いしました。

第5期生 山平 斉 会員（所属：秋田赤十字病院）

Apple Road の読者の皆さんこんにちは！

私は4月より秋田赤十字病院に転任し、元気で頑張っています。これまではアパートで一人暮らしをしていましたが、現在は実家から通っています。毎日、電車で45分くらいかけて通勤していますが、電車の中で居眠りをするのが楽しみの一つになっています。しかし、立って行くことも多く仕事をする前に疲れてしまいます。（都会のラッシュとは比較になりませんが…）

さて、病院のほうですが、これまで秋田赤十字病院には理学診療科はありましたが、マッサージ・温熱・低周波などによる治療をマッサージ師が行っていました。そのためか対象疾患は整形が大部分を占め、中枢神経疾患等は急性期を過ぎるとリハビリ目的で転院となっていました。外来・入院を比べると外来が半数以上で、その中には毎日低周波・マッサージをしに来る人もいます。また、ベッドサイドでROM ex.をしていると「マッサージに来てくれて良かったね。」と言う看護婦も数人います。このようにリハビリに関してはこれからの病院です。今、運動療法施設の承認を受けるべく書類作り・他部門との話し合いなど忙しい日々を送っています。いろいろ問題点もありますが一つ一つ解決していきたいと思っています。

第8期生 齋藤 圭介 会員（所属：津軽保健生協健生病院）

どうも初めまして。この程めでたく、同窓会の仲間に加わらせて頂きました齋藤圭介です。4月1日より、地元の津軽保健生活協同組合健生病院に入職してから早2ヵ月余り経ち、ようやく職場の雰囲気にも慣れ、ともだちの看護婦さんもいっぱいできました。しかしながら、肝心の仕事面はまだまだの状態です。うちの病院におけるリハ対象者の特徴としては、どこの病院でも同じことが言えるかと思いますが、高齢者が大多数を占め、*Dementia* が多いことが挙げられます。知識や技術が足りない分、患者さんと接するときは笑顔とやさしさ、そしてつねに冷静さを保つことを信条とし、たとえ訓練中に失禁されおしつこの海にさらされても、ニコニコ微笑みつつ対処しておりますが、70歳を過ぎたおばあちゃんに「若い男の子大好き。」と、ズボンのチャックをおろされた時には高齢者を見慣れていて年齢感覚が麻痺している自分は「これって結構役得だよなあ」と、ついつい冷静さを欠いてしまいました。まあ新卒で不慣れの点多々ありますけれども、上司である伊藤和夫先生の「なあんも、いいね、いいね」という励ましをうけながら、なんとか頑張っております。まだまだ未熟者の私ですが、皆さん今後とも宜しくお願いします。

最後に一言、「8期生のみんな、がんばってつか？ そっかあ。」

広報部では在校生を含めて全国各地で頑張っている同窓生のみなさんの様子をどしどし伝えていきたいと考えております。どうか原稿依頼のあった方々期限を守ってご返送して下さいようお願い致します。

☆ 投 稿 ☆

(匿名にて)

同窓会の皆さんお元気でしょうか。

今の生活、充実した日々を過しているでしょうか。

日々の臨床に流されていないでしょうか。経験年数だけがふえ、分かったような気分になり、患者さんが「人」であることを忘れ、こちらの気分で患者さんに接してはいませんか。そういった自分にふと気がつき自己嫌悪に陥ったり、行き詰りを感じていませんか。卒業した時の不安と夢と希望に満ちていた自分、病院の体制がなくなっているとか、給料が安いとか、休みが取れないとか、不満ばかり言っている今の自分と比べて、あまりの隔たりに驚いたことはありませんか。

ふと気がつくとボーッとしていませんか。患者さんに対して最良の対応をしなければいけない、でも何も手につかず日々の生活に追いまくられて、無為に日々を過しているような、自分一人が周囲から浮いてしまっているような、置いていかれてしまっているような、そんな気がすることはありますか。

仕事に疲れ、暗いアパートに一人で帰り、一人でテレビを眺めている時、さみしくはないですか。学生時代なら近くに友人たちも多く、夜中に訪ねても話し相手になってくれた、そんな時代が懐かしくはないですか。

今の生活を振り返ると、私は自分自身が小さな存在に思えてなりません。現状を打破し、自分を、そして周りを客観的に見て、最善を尽くし、すべてのことに前向きに対応しなければいけないと思いつつ、なおかつ少し先の自分の未来も見えない現在に不安を感じているのです。臨床でも忙しいという言葉を使い訳にして、患者さんの評価が不十分なまま訓練を行ない、ある日肝心の部分を忘れていることに気がついて、退院の直前で、十分機能を取り戻さないまま自宅に帰さなければならないとき、私は未熟だと痛切に感じるのです。香川先生の口癖だった「患者さんを愛しなさい」の言葉を忘れていた自分がまったく情けなく思えてなりません。

今年入った新人には「じきに慣れるよ」「慣れればできるようになるから」「初めてみる症例だって慣れれば何とか成るさ」などと言っているけど、実際の自分を振り返ると、慣れるだけではどうしようもないこと知っています。「慣れて流されるな」と言ってやらねばならないのに、自分こそがそんな状態では言葉に出すにはばかれるのです。

それでも私は近頃、今のこの現状に、どうにもやりきれない気持ち、自分自身への怒りなどから抜け出したいと思うようになっていきました。まずなにから手をつけていけばいいのか、少なくとも何を直せばいいのか、自分にどんなことが出来るのか、一つずつ片づけて、一つずつ乗り越えて、一つずつ見つけて、少しでも周りから認められるような人間になれるよう、努力を始めなければならない歳になってきた気がします。今この流れに逆らい、時には自らこの流れを変えて、また堰き止められることのできる人間になりたいと思い始めています。

臨床？年目になる私の今年の目標です。

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科 O. B.

--- 学会の地、札幌にて投函。 ---

☆ 会費納入はお早めに!! ☆

前号でもお願いを致しましたが、今年度の会費納入が遅れています（納入を済ませた会員はなんと全会員数のおよそ1/2だけ、未納者は別紙参照：振替用紙を同封致しましたのでよろしく）。消耗品の購入ができず、このままではニュースの発行も大変な状況になりつつあります。是非とも事務局の苦勞をお察し頂いて早急に納入して下さい。同窓会の規約では納入期限は当該年度の**6月末日**までとなっておりますので重ねてお願い致します。

また、今年度卒業された第8期生の皆さん、ボーナスをもらったら、その中の3,000円を同窓会の入会金と年会費に振り当てて納入して下さい。消費税は頂きません…。

☆ 『入会届・移動届』の提出について ☆

会費納入のお願いに加えて、今年度転任なさった方、あるいは住所変更のあった方は、至急事務局まで移動のご連絡をお願いします。新入会員の方々の中には、まだ入会届の提出のない方も多く、追加名簿の作成・発行が遅れております。そろそろ職場にも慣れ、仕事も軌道に乗ってきているのではないかと思いますので、仕事の合間の少しの時間を頂いて、入会届の提出をお願い致します（未提出の方々には改めて入会届を同封させて頂きましたので返送して下さい）。すでに提出頂いた方々の中で、現住所が変わったり電話がついたなど多少変更になっている場合は、ハガキか、電話連絡でも結構ですので、ご一報頂ければ幸いです（連絡先は、弘前医短理学療法学科内同窓会事務局の庶務部：藤田智香子、名簿作成係：尾田 敦、広報部：櫻庭 満までお願いします）。また会員の方々に同窓会届未提出の方にも移動届を送付させて頂きましたので返送方よろしくをお願いします。

また、ご結婚なさる方、同窓会より祝電を打ちますので日時、場所、相手方のお名前をお知らせ下さい。さらにご出産された方々はお子さんの誕生日とお名前をお知らせ下さい。追ってニュースに掲載致します。（庶務部、広報部、名簿作成委員会）

編集後記

◆ 7月発行の予定が、もう8月になってしまいました。

暑かったり涼しかったりで、夏風邪ひいて寝込んでいたわけではないのですが、光陰矢のごとし、時間のたつのはなんと早いことよ…。

◆ 日にちが早まった10周年記念事業。現在、企画を練りに練っています。

まだ認識の浅い土俵に普及の努力をしている人、PT教育の質を高めるべく様々な分野への働きかけをしている人、より専門を極めるべくPTを追求している人、広い意味でのリハビリテーションをめざし幅広い教養を養っている人…。

リハビリテーションの理念を学んだ弘大卒業生が、全国津浦浦で頑張っている姿を思うとき、有形・無形に築き上げてきた実績が歴史を変えていることを感じます。

◆ 匿名さんではないけれど、人間、何をしてきたかではなく、どう生きてきたか、そしてどう生きていくか。10周年のこの機会に生き様を振り返り、語り合えたら…と思います。

◆ ちなみに同窓会総会も開かれます。会費を納めている以上、会の運営にも協力をぜひとも宜しくお願いします。

広報部長：河原優美子

広報部員：櫻庭 満 後藤 明教 三上 一貴 荒井 祐子
土岐 浩志 菊池 香 (編集協力：尾田 敦)

☆ 臨時総会開催にあたって ☆

会長 石川 玲

理事会では、会員諸氏へのアンケート調査結果を資料とし、昨年度から同窓会運営の礎を固めるための協議を続けてまいりました。その中で特に、会の最高議決機関である総会の在り方について慎重に議論を重ねてきました。理事会ではこれまで、会員が出席しての総会の開催をメインと考え実施してまいりましたが、残念ながら総会への出席者は年々減少しており、役員よりも一般会員の出席者の方が少ないこともありました。そこで理事会では、今後もその傾向に歯止めをかけることは困難であるとの考えから、会員諸氏の意見を広く会の運営に反映させるために広報を利用した紙上での会務処理を規約に盛り込む方向を打ち出しました。

そこで今回、この点を中心とした規約改正について会員諸氏にご討議頂くために、弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科10周年記念式典の翌日、同会場にて午前9時より臨時総会を開催いたしますので、多数ご参加下さいますようお願い致します。

また、出席困難な方は総会前日までに(必着)委任状を事務局まで送付して下さい。

臨時総会議案(別紙同封、当日御持参下さい。)

1. 同窓会規約の改正
2. 選挙管理規定の改正

☆ 私のページ ☆

今回は、上長根 妙子(3期生)、福田 淳(6期生)会員にお願いしました。

第3期生 上長根 妙子 会員(所属：青森県立はまなす学園)

今年、秋、転勤族に嫁入りすることが決まり、9月末で5年半勤務した、はまなす学園を退職することになりました。PT業務を一端中断し、専業主婦になります。仕事をやめ、家に入り、家庭の基盤を作り、あと3年先までに子供をもうけ、その子の発達の姿をこの目でしっかりと見・看・観て、育ててみたいという夢——を、自然に聞き入れてくれた相手に今は感謝の気持ちでいます。

リハビリテーションは人生のひとつの生き方である。(R) 今までの業務の中で、人間・家族・発達……など、いろいろな事を障害児をかかえた家族の方々に教えられてきました。ことに発達・生命に関しては深く考えるようになり、興味が尽きません。

少し今は、PTとしての人間性を高めるための充電期間をもとうとしています。今までのことが無にならぬよう、PTとしてのアンテナを張り巡らしているつもりです。また、小児から少し離れ、成人・一般も学んでいこうと思っていますし、小児の次に興味のある

在宅リハも学べればと思っています。しかし、就職したてに、在宅リハについては10年勤務した後一人前のことを言えと戒められたのに、その半分しか勤務できなかった自分が情けない限りです。

長い長い人生ですから、再びPTとして復帰することもあるでしょう。その折には、どうぞ、ご指導、ご支援よろしく願います。また、情報や知識など教えて下さいね。

第6期生 福田 淳 会員 (所属: 山の手通病院)

同窓会誌関係の皆様方、大変御迷惑をおかけしました。Newsの中の一文が胸にささり、遅ればせながら書かせて頂きます。

北海道は、お盆をすぎるとすぐ秋です。そして短い秋のすぐ後は、凍てつく冬がやって来て……ぶるっ!!

娘の遙は、8月現在で7ヵ月です。ひとり坐りも満足にできないくせにハイハイしようとし、親の目を盗んではイタズラばかり、おまけに早食いで(父親似……)離乳食をのどに詰まらせているお茶目な奴です。あ～、この先、いったいどんな激戦になるんでしょうか???

仕事の方は、4月から毎土曜日(半日!)のみPTとして復帰…とは言えないまでも、家計の足しにと思い、頑張っています。今は、スタッフも4人になり、ずい分とにぎやかです。新人として入った頃は、新設病院として、皆、作り上げていくことに一生懸命だったのが、3年目の今、発展させていくことになっていっています。第1線から遠ざかって改めて、初めの頃の初々しさを忘れちゃいけないなアなんて感じています。

現在は、「主婦」にどっぷりと漬かっている私ですが、主婦しながらもPTとしても少しずついいから成長していきたいなど欲張りな事を考えているけど、無理かしら??でも、子育てしてみると、子供は、こちらのいう通りにはなりません。こっちが合わせていかなければいけないんです。そこところが、患者さんとの接し方と同じなんじゃないかって、ひとつだけわかってきた事は、うれしいなと思っています。ほんと、相手のペースに合わせるのは難しいですね…。

それでは、また、お便りします。

初秋の札幌より

広報部では在校生を含めて全国各地で頑張っている同窓生のみなさんの様子をどしどし伝えていきたいと考えております。どうか原稿依頼のあった方々期限を守ってご返送して下さいようお願い致します。

☆ おめでとう ☆

川口 徹 長男:航(わたる) 9月20日誕生(3,220g)

畠山 勇人 9月 8日 結婚

高橋 尚人 10月 6日 結婚

菊池 香 10月10日 結婚

秋の巻後記

- ▼暑い暑いとフーフー言っていたのに、もう10月。日差しも和らぎ、虫の声・風の冷たさ・高くなった青空・鱗雲……弘前もすっかり秋の装いとなりました。
- ▼同窓生の皆さんには、昼夜を問わず、TEL が届いていることと思いますが、沢山の同級生が中堅になり、スーパーバイザーなんかやったりして、時代の医療を担い、次の世代のPTを育てている……（信じられないとは言いにくい）つくづく時は流れていることを実感しています。
- ▼皆さん心待ちにしている10周年記念の具体的なプログラムができあがりしました。興味津津の話題が盛り沢山。今後の糧となるよう、大いに話っこできれば幸いです。残念ながら参加できない人のために、次号は、特集号を組む予定です。乞うご期待！

広報部長：河原優美子

広報部員：櫻庭 満 後藤 明教 三上 一貴 荒井 祐子
土岐 浩志 菊池 香 (編集協力：尾田 敦)

同窓会名簿正誤表

< P. 4 >
24. 柿崎 智子

[変更] 勤務先 社会福祉法人恵寿福祉会老人保健施設青森ナーシングライフ
勤務先住所 〒039-35 青森県青森市大字矢田前字弥生田47-2
勤務先TEL 0177-26-5211

24	柿崎 智子	社会福祉法人恵寿福祉会老人保健施設青森ナーシングライフ	〒030-11 青森県青森市大字油川字浪返104 ☎
		〒039-35 青森県青森市大字矢田前字弥生田47-2 ☎ 0177-26-5211	

< P. 4 >
43. 山田 朋子

[変更] 現住所 〒034 青森県十和田市穂並町15番4-15号
現住所TEL 0176-25-1514

43	山田 朋子 (工藤)	社会福祉法人恵寿福祉会老人保健施設青森ナーシングライフ	〒034 青森県十和田市穂並町15番4-15号 ☎ 0176-25-1514
		〒039-35 青森県青森市大字矢田前字弥生田47-2 ☎ 0177-26-5211	

< P. 12 >
107. 福田 淳

[変更] 現住所 〒063 北海道札幌市西区西野2条3丁目4-6 コーポ阿部C

107	福田 淳 (高橋)	山の手通病院 理学診療科	〒063 北海道札幌市西区西野2条3丁目4-6 コーポ阿部C ☎ 011-661-7769
		〒063 北海道札幌市西区西野2条5丁目 ☎ 011-663-3100(418,419)	

100	田中義典 田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号
101	田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

102	田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号
103	田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

104	田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号
105	田中義典市長公署秘書 019-81310018-028-110 号	019-81310018-028-110 号

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書 田中義典市長公署秘書

アール

番外編

発行：1994年12月15日
責任者：石川 玲
事務局：弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科研究室
TEL・FAX 0172(36)0945

同窓会名簿発行にあたり、今春郵送して頂きました葉書の近況報告欄の一言を掲載致します。半年前の状況であること、また3、9、11期生からはメッセージが頂けなかったもので、掲載していないことをお断り致します。近況を寄せてくれた方々、現在の状況はいかがでしょう。同期の状況を読んで、“私も、人生こんなに変わったよ”という方がおられましたら、同窓会事務局までご一報下さい。(尚、★印は広報部からの一言です。)

【第1期生】

柴田孝之会員

相変わらず一人職場で悪戦苦闘しています。木町は弘前市に近いので町立病院クラスの中・大規模病院がなく、リハ対象患者はたくさんいるのに充分なりハビリを受けられない状態です。当院で行える程度にも限界があるし…。なんとかならないものなのでしょうか。

【第2期生】

内田雅之会員

昨年度は待望のボバース8週間コースに行くことができ、そのコース終了後1ヶ月半位でACL断裂し、3ヶ月くらいの入院生活を送るはめになってしまいました。現在はようやく落ち着きましたが、膝がまだ完全に曲らない身体障害者になってしまいました。それでもいつか正座できることを夢見て頑張っている今日このごろです。(年寄りROM改善が遅い)

★正座はできたでしょうか…。

【第4期生】

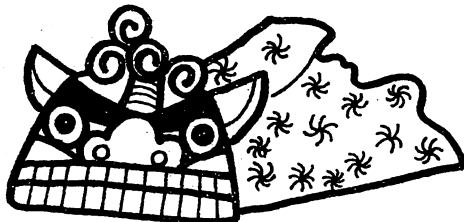
相場みどり会員

私は7月初めに第2子を出産の予定です。現在、大きなお腹をかかえながら、なんとか仕事を続けています。出産後は育児休暇をもらい、育児に専念しようと思っています。学会、懇親会に参会したかったのですが、身重の体を抱えて青森まで訪ねる自信がありません。大変残念ではありますが、いつかまたどこかで皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

★子供さんの名前を是非お知らせ下さい。

謝花芳治会員

P TらしくないP Tになるために頑張っています。



【第5期生】

畠山祐子会員

H5. 12. 26に女兒を出産しました。名前は桃佳です。今まで勤務していたあさくらホームは一旦退職し、今は、非常勤になっています。ニュースはいつも楽しみにしています。大変でしょうけれども、これからも頑張ってください。

★NEWS NO. 40にて桃佳ちゃんと掲載してしまいました。訂正してお詫び致します。

柴田智文会員

中部病院から新病院が開設し、あおもり協立病院勤務となりました。病院の名称が変わっただけで、別に、やめて移ったというわけではありません。私も卒業して8年たち、わけがわからずですが、主任代行の役職をもらって、奮起しています。

【第6期生】

福田淳会員

今春4月から週3回パートタイマーPTとして働いています。が、週3回とはいえ、担当患者も割り当てられ、いろいろと悩むこともあります。でも、同期生で、PTとして、母として、妻として、主婦として、一生懸命頑張っている人もいて、私の悩みなんて、ゼイタクかな～と思いつつ日々過ごしています。

★福田さん自身だってエライ！！

竹内康子会員

H6. 3. 4に女の子を出産しました。名前は、ひなたです。4月末より、仕事(といっても週1回と月1回のリハビリ教室ですが)もなんとか再開できましたが、いつまでこのパターンで仕事をできるかは「？」です。学会も託児所があれば参加したかったのですが残念です。

村田ぶじみ会員

私の近況は特に変わりありません。早く名簿のデータ欄に「旧姓」とか「結婚年月日」を記入してみたいものだと思っている今日このごろです。

★いつでもお待ちしております！！

【第7期生】

高橋恵子会員

東京都立府中病院に移り1ヶ月が過ぎました。今までの職場と違い、PT15人、OT6人、ST4人とスタッフが充実しており、いろんなことを試すにはよい職場だと思います。様々なことに挑戦してみたいと思っている今日このごろです。

【第8期生】

越後朋子会員

“卒業後5年目、免許取得後5年目—”何だか怖いこの言葉…。重症心身障害とは？重心にとってのPTとは？施設の中で私がすべきこと、できることは？福祉の体制と現実とのギャップ…色々なことに思いをめぐらしている間に5年が過ぎてしまいました。そんな思いの中に今の自分の限界も見えてきた気がして—。新たな出発のために作戦をねりつつある今日この頃です。
★作戦開始の暁にはまたお便り下さい。

眞壁悦子会員

H5.11.30に長男拓也が生まれ、腰痛、両手首の腱鞘炎に悩まされながら育児に励んでいます。今秋、引っ越し予定です。

三船衛会員

結婚して1年になろうとしています。12月には子供も生まれる予定です。能代の職場に移ってから2年目となり、今年は秋田医短からの新人が入りました。毎日が忙しく時間が足りない気がしています。

★子供さんが生まれたら、ご一報下さい。

【第10期生】

黒澤祝会員

諸先生方、同窓生の皆様、お元気でしょうか。毎日お仕事に精を出していることと存じます。私の病院では今年度より理学療法施設認可獲得に向けています。PTが一人増える（新人=女の子）→毎日が楽しい→ドキドキの連続→仕事にならない→それはウソです。まだまだ頑張ります。

長谷川道子会員

就職3年目、大学生活2年目に入り、疲れながらもなんとか、どちらも落ちない程度にやっています。当院で行っている車椅子バスケットに参加している関係上、最近、身障スポーツにはまって(?)います。2月には、京都で行われた「全国車椅子駅伝」の川崎市チームの選手団（名ばかりのコーチ、実は、付添い?）の一人として参加し、バスケットの方も地元チームのちょっとした世話役をやっています。彼らのプレイ中の動きを見たり、様々な話を聴くことにより学ぶことも多く、私にとって貴重な体験となっています。

竹下いずみ会員

最近何種類かの集団体操を病院で取り入れました。体操のお姉さんとしても頑張っています。毎日大きな声を出して笑い合えるのが嬉しい!

【第12期生】

今泉典子会員

リハスタッフが28人もいる大所帯ですが、何とか名前も覚え、元気に過ごしています。担当している患者さんは現在5人ですが、試行錯誤の毎日です。私用で学会には行けそうもありませんが、9月の初めごろ、一度弘前に遊びに行こうかなと思っています。

柴田信行会員

皆さんお元気でしょうか。僕もなんとか頑張っています。これから暑くなりそうです。体には気をつけてファイトです。

島村耕介会員

ひたすら仕事・仕事・仕事といった毎日、今日(5/23)も、PM11:46に病院でこの文章を書いております。あーゆっくりねむりたい。仕事の量はあるけど、質が落ちないように頑張ります。“PTはドカタじゃない!!”

★呉々も体と奥さんは大事にして下さい。

野呂桐子会員

皆さんお元気ですか。桐子も元気でやっています!!津軽弁はあまり話してなくて欲求不満です。せめてここでは使わせて下さい。

なんだが埼玉は暑くてたまらない。今日(5/24)は30℃もあった。ハナチがでそうで、まんず大変です。大変なのは、気候や言葉だけではなく、仕事です。もっと一生懸命にがんばって勉強せばよかった。いままさら後悔です。

★まだ間に合います。これからですぞ!!

宮川恒会員

毎日、盛田君と二人で悪戦苦闘の日々!認可、在宅リハ、リハ学級、保健福祉センター、etc…。※近くに來られた際は、是非お寄り下さい。

HAPPY MARRIAGE & HAPPY EVENT

★ご結婚★

5期生 古川 雅一会員：11月12日

章子さん

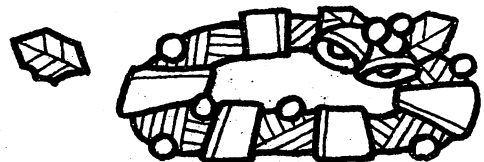
8期生 岡本さおり会員：11月12日

(旧姓成田) 洋(ヒロイ)さん

★ご出産★

9期生 小野田修一会員：11月13日

倫大君



《 理学療法学科創立10周年記念特集号 》

去る10月20日、弘前大学医療技術短期大学部卒業生及び教官OBを集め、平賀町南田温泉アップルランドにて弘前大学医療技術短期大学部10周年記念セミナーが開催されました。

当日は実習指導者会議終了直後、その上全国研修会の次の日という悪条件(?)にも関わらず、卒業生44名、教官OB 5名、実習指導者 6名、教官 5名の総勢60名が集まりました。

そこで、今回は特集を組んでみましたので、残念ながら参加できなかったみなさんにもセミナーの盛況ぶりをお伝えし、10周年の喜びを分かち合ってくださいと思います。

☆ 記念セミナー総括 ☆

実行委員長：弘前大学医療技術短期大学部

理学療法学科 伊藤 日出男

1980年 4月 1日に理学療法学科が開設されて以来、満10年を経過したのを記念して、去る10月20日平賀町のアップルランド南田温泉において講演会とセミナーが開催されました。現学科主任の三浦孝雄教授と前主任で現外旭川病院長の菅原正信先生の講演の後、三つのセクションに分かれて深夜に及ぶ討論が行なわれました。特に「関東地区研究会二年間の活動」というセクションでは、香川幸次郎先生を中心に首都圏に就職している卒業生31人が定期的集って活発な研究活動を行なっている様子が報告され、地元の卒業生達に大きなインパクトを与えたようでした(ちなみに31人の中には夜間大学に通っている卒業生が7人おります)。

私にとってこの10年は、決して楽しい思い出ばかりの歴史ではありませんが、148人の卒業生達が皆立派に成長している姿を見ると、“学生に教えられる”ことの意味が、しみじみわかるような気がします。

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科

主任教授 三浦 孝雄

歳をとると歴史に目が向くようになることを意識しながら、今回の10周年記念にあたってマッサージの歴史と称して皆様のお耳を汚す話しをしてしまいました。

理学療法学科8年生となった今、学科の歴史を感じるとともに、今後作るべき歴史が山積みしている現実と直面しています。

いたずらに馬齢を重ねないよう自戒していますが、果たして次の10年目ではどうか。

☆ ナイトセミナー総括 ☆

第1セッション：「関東地区研究会の経過及び現状」

関東地区に就職した同窓生有志が関東地区研究会の実績と経過を携えて、東京から飛行機でひとつとび。2時間以上にわたる活発な論議が展開されました。

1) 発足

関東周辺新入職員歓迎会が、'88年7月より研究発表会に格上げとなり、2カ月に1回土曜日夕方6時から、東京女子医大で開かれているもの。

2) 目的：関東地区とは…

- ①短大のバックアップが全く届かず、即戦力として一人立ちしなければならない。
- ②様々な学校の卒業生が存在する。
- ③様々な学閥が存在する。
- ④たくさんの情報が氾濫している。

“生き馬の目を抜く” 都会である。日常の煩雑さに流され続けられれば、自分を見失ってしまい、親身になって目をかけてくれる人もいない。過酷な環境の中でさらに知識を積み上げていくためには、自らを叱咤激励し情報を求めていく姿勢が必要となる。このような状況のもと、日々孤軍奮闘している卒業生の情報交換（発奮材料）、心のよりどころとなっている。

3) 内容

過去11回、多岐にわたる症例報告や行政関係の情報の中から

『心因性歩行障害の症例を担当して』 4期生 一戸美代子さん

『医療法改正の内容』 神奈川県庁 香川幸次郎先生

の発表がなされ、研修会の雰囲気は伝えられた。

4) 今後の課題

- ・マンネリ化せずどう活発化させるか。
- ・発表内容を記録しておき、さらに研究を深め、学会発表まで質を高める。

症例発表では、質疑応答の後「心因性の障害の誘因には症例の生育歴、家庭環境が大きく影響する。深い洞察が必要であり、スタッフが一貫した姿勢で治療に望むべきである」といったアドバイスがなされました。

医療法改正については、厚生省の医療費削減のための方針、具体的な対策が簡単に説明されました。さらに理学療法の視点からみた高齢者対策として、今まで高齢者の二次的合併症といわれてきた老化現象こそが、様々な疾病の誘因になることが指摘されました。従って、従来の障害構造のたて方ではなく、加齢と共に起こる身体変化に対応する“加齢モデル”を考える必要があります。これらを未然に予防し、健やかな老人を育成するためには、PTの必要性はさらに高まることが話されました。

報告：津軽保健生活協同組合健生病院 河原優美子（5期生）

第2セッション：「理学療法遂行上の諸問題」

菅原先生も参加され、黒石病院の後藤先生を座長に十数名で輪になり膝をつき合わせるようにしてすすめられました。まず始めに短大の櫻庭先生と私こと勘林から話題提供をおこないました。櫻庭先生は金木病院に勤務していた時の経験から、機器を購入したいがなかなか買ってもらえなかったことや、他部門とのコミュニケーションがうまくとれなかったこと、労働条件の問題など話されました。私は、ケースワーカーがいないこと、他部門とのコミュニケーションが十分とれていないため患者の退院への対応が十分できていない、労働条件の問題等を話しました。

限られた時間でしたが、これらの話題をもとにして話し合いが活発に行われました。機器購入については、病院によって交渉の場があるところもあるようでしたが、ともかくその必要性について説得力のあるよう資料を用意するなどの準備をすることが大切ではないかというところでまとまりました。

他部門とのコミュニケーションの不足については、PT自身が他部門について理解しようと努力しているか（例えば看護部の申し送りに参加するなど）というところに話題が進みました。セミナーのテーマが大きく、また病院・施設によって様々な問題があり、各論には至りませんでした。大変有意義な内容だったと思います。

報告：黎明郷リハビリテーション病院 勘林 秀行（6期生）

第3セッション：「高齢者をとりまく諸問題」

余りにも大きすぎるテーマですが、そのなかから特に老人保健施設の現状と問題点について、施設に勤務しているPTから現状報告がなされました。

「病院にいるのが当たり前」「家庭における居場所がない」「生活の目的がない」という老人のすがた。「痴呆になったら施設へ預ける」「老健施設の方が世間体がいい」という家族のすがた。その様な社会情勢のなかで暗中模索している施設。“通過機能”としての老健施設がいつのまにか特別養護老人ホームもしくは老人ホームになってしまっている現状。空床でいるよりは満床にしないと経営が困難という経営者サイドのすがた。その施設のなかでわずか数名で100名もの入所者に対し、“自立支援”という目的で何ができるのだろうか、どのようにやればいいのかと悩んでいるPT。老健施設を職場として確保していく方針のPT協会。さまざますがたが浮び上がりました。余談ですが、秋田では「老健施設にPTいらす」といわれているとか……。

次に地域格差の話題。貧しい家庭では老健施設の月々¥50,000円程度の負担金が大変だという話。「子供の保育料とあまり変わらないから、施設に入所してもらい、共稼ぎをします」という家族。何千万ものお金を出して有料老人ホームにはいる裕福な老人。違うもんだなあと思嘆するばかり。

そして話題はPTの専門性についてまで広がりました。PTはもっとフィールドに出て行くべきだ、フィールドを大切にすべきだという話題から、PTとしての本質は何か？ 専門性とは何か？ それを獲得するためにはもっと長い研修期間が必要であるという話まで……

話の收拾がつかなくて、おろおろしていた座長は参加者の皆さんに助けられ、時間もちょうどいいことだと何もせず終了してしまいました。

報告：公立金木病院 須藤恵理子（5期生）

☆ 印象記：その1 ☆

「学科創設10周年記念セミナーに参加して」

青葉病院 沼倉 たまき

みなさんより一足先にアップランドを後にした私は今、JAS212便東京行きで十和田湖上空を飛んでいます。昨日の午後の便で青森へ向かい、久しぶりに先生方、同級生、同窓会の方々と会うことができました。学生時代を思い出したり、現在の悩みを話し合ったり、また将来について語り合ったりと、時の流れを行ったり来たりしながら、10年の歳月が一夜にして過ぎ去りました。

早春の頃、岩木山の雪どけ水の細い流れが無数に交わり合い、津軽平野を流れる岩木川となります。学科創設から10年間の歩みは、この細い流れの1本1本がようやく小さな小川となったところではないでしょうか。在学期間は3年間という短い期間ではありますが、卒業後もそれぞれの職場で弘前大学の看板を背負って頑張っています。すでに8期を数える卒業生148名、現職そして退官していかれた先生方、そして在校生、それぞれが細い流れの1本1本であり、そのどこが欠けても現在の弘前大学理学療法学科はありえないのです。自分の刻んだ足跡もその中の1本でいられることに、嬉びと誇りを感じると同時に、責任の重さも感じます。この流れが絶えることなく、大きくたくましい流れとなるよう、私たち全員が努力し続けるエネルギーをお互いに充電し合ったそんな一夜でした。

飛行機はもうすぐ羽田空港に到着します。

「三浦教授・菅原前教授の講演を聞いて」

PT学科3年 木下 滋

三浦先生・菅原先生、両先生の講演をとっても興味深く聞くことが出来学ぶことが多かった。まず三浦先生の講演の内容だが、医療の原点はマッサージにあるとし、ヒポクラテス、アスクレピアデス等、紀元前まで遡る、歴史的な人物、その業績を紹介していた。

そして、マッサージの主な目的として“病める人に”手を置き、冷たい場所を暖めたり、痛い場所をさする事により、患者さんとの *contact*、信頼を保つこと、を話されていた。

更に最近の医療は、物理療法等の機械化により、治療者自身の“手”を使用しなくなり患者さんとの肌を通しての触れ合いが出来ない状態にある。そこで私たちPTは患者さんと身近な位置にあるので、もっと手の重要性を知り、哲学的に理論化していかなければいけない、とのことだった。

菅原先生の講演でも、三浦先生の講演と共通するところがあり、西欧での肢体不自由児施設等を紹介し、*Hospis* の重要性を述べていた。

西欧の施設ではひとりの治療者に対し2~3人の患者しか担当しないそうであり、ひとりの患者と接する時間が長いそうである。

日本では一人の治療者に対し10~20人もの担当患者がいる。このような状態では満足に患者と接することが出来ず、肌を触れ合い、*contact*、信頼関係を保つという事も十分に出来なくなる。現在、我が国ではPT1万人、OT6千人いれば十分と言われているそうだが、以上のような患者との信頼関係を保つためにも、療法士はまだ不足していると思われた。

そして、このような講演を聞く毎に、三浦教授がいつも話しておられる、*Hand, Head, Heart* (3つのH)の重要性を思い出し、まだ学生であり、乏しい知識しか持ちあわせていない僕などはせめて、患者さん達一人ひとりと手を触れ合い、信頼関係を得、心の安らぐ雰囲気を作って行きたいと思うのである。

☆ 印象記：その2 ☆

～宴会場にて一言～ (一部は青森県理学療法士会ニュースに掲載済)

教官OB

(医) 惇慧会外旭川病院 菅原 正信

大勢の卒業生の皆さんと再会できて嬉しかった。8年間私が皆と話合えたことが無駄でなかったとしみじみ感じております。

私の話は充分解ってもらえなかったと思いますが、これからの時代に即応できるように自分たちが考えて行動できるように望んでいます。

神奈川県庁 香川幸次郎

久しぶりに弘前の雰囲気を味わって、研究室の日々を懐かしく思い出した。

秋田大学医療技術短期大学部 進藤 伸一

この10年は、金沢医短に次ぐ先発校としての基礎作りでした。これからは、弘前のカラーを花開かせる10年だと思います。OBとして応援します。

臨床実習指導者

東八幡平病院 貴田 正秀

皆で頑張りましょう。

中通りハビリテーション病院 伊藤 清明

10周年おめでとうございます。卒業生もSVとしての役割を果たすようになったことを考えますと、感慨深いものがあります。これからも日本のPTを背負って立つ人材が育つことを期待しています。

第1期生

国立療養所岩木病院 石川 玲

皆よく集まってくださいました。私が5回生の副担任だったことを忘れていました。でも、5回生の皆さんは暖かく私を包んでくれました。

八戸市民病院 大堀伊久子

10周年おめでとうございます。私も年をとりました。若いままの気持ちで、お仕事頑張りましょう。

秋田大学医学部附属病院 佐藤 峰善

三浦先生の話がとてもおもしろかった。菅原先生のお話しが大変参考になった。どうも有難うございました。

第2期生

弘前大学医療技術短期大学部の花嫁候補

2期生は少数精鋭で頑張っています。

第3期生

青森ナーシングライフ 山田 朋子

次の10年後を目指して頑張りたいと思います。

青葉病院 沼倉たまき

懐かしい顔に逢えて良かった。やっぱり一期生の貫禄はさすがだと思いました。

第4期生

東京慈恵会医科大学附属病院 一戸美代子

トンボがえりはつらい!!

秋田県立脳血管研究センター 高見 彰淑

学生時代に比べて、顔つきが違うのも当然ですが、体つきも変っている人達も多く見受けられました。それなりに頑張っている証拠ですね。

国立療養所松丘保養園 楠美 有理

ナイトセミナーでは、通常の研修会では聞くことのできない労働条件等の問題について、ざっくばらんな意見をうかがうことができ、大変参考になりました。

(医)ときわ会ときわ会病院 佐藤比呂子

10年一昔とは言いましても、皆さんお褒りなくお元気そうで安心しました。懐かしい顔も見慣れた顔も、もう10年経ったら、どうなっていることでしょう。

第5期生

東京都済生会中央病院 石田 秀雄

またがんばらなきゃいけないな、と思った。

秋田県厚生連仙北組合総合病院

小田嶋尚人(旧姓高橋)

10周年おめでとうございます。もっといっぱい集まって盛り上がりたいな。

東京都済生会中央病院 田畑 稔

両先生のお話しが懐かしく聞けたので嬉しかった。

第6期生

社団医療法人鶯宿温泉病院 佐々木妙子

久しぶりに先生の講演を聞けてすごく嬉しかったです。

これから(ナイトセミナー)症例検討会の方に参加するんですが、なかなか聞けないことなのでよく聞いて行きたいです。

東北厚生年金病院 原田由紀子

私も今年3年目でうずうずしていたんですが、これを機に奮起したいなど思いました。

学生時代菅原先生、三浦先生の授業はついうとうと…だったんですが、今日は心にとめて聞かせて頂きました。

第7期生

(医)聡友会弘前記念病院 荒井 祐子

同期が少なくてちょっと寂しかった。

社団医療法人鶯宿温泉病院 伊藤江里子

もっと来るかと思ってた。皆さんお褒りなく、先生方の元気な顔を拝見できて嬉しく存じ上げます。

第8期生

秋田県厚生連北秋中央病院 津嶋 敦司

もっと来ると思ってた。10年の区切りなのにちょっと寂しい。

第9期生(学生)

中江 秀幸

知らない先輩に会えて嬉しかった。圭介君に会えて嬉しかった。俺たち人数少なくて緊張ですよネ。

木下 滋

肉がうまい、刺身がうまい、ビールがうまい。

◆ 補足 ◆

10周年記念事業実行委員会にて、『理学療法学科10年の歩み』なる小冊子を作成しました。この小冊子は、記念セミナーに参加された方々には(同施設内の同窓生の分も含めて)既に配布済みです。今回、記念セミナーに参加されなかった会員宛に送付させて頂きました。万一、お手元に届かなかった方、あるいは既に受け取っているにも関わらず、送付された方がいらっしやいましたら、速やかに短大理学療法学科宛にご連絡またはご返送をお願い致します。尚、「臨床実習施設の年度別実習生依頼状況(人)」というタイトルの資料を同封致しました(全会員に)が、これは『10年の歩み』の16ページと17ページの間にでも挟んで、10年間の歴史の1ページに追加して頂きたいと思えます。

また、10周年記念事業の決算報告を添付しておりますので、もし不審な点や疑問な点がございましたら同窓会事務局までご一報下されれば幸いです。(10周年記念事業実行委員会)

☆ 私のページ ☆

第6期生 原田 由紀子 会員 (所属: 東北厚生年金病院)

暑い暑い夏が過ぎ、あっという間に冷え込んできましたが、同窓生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。秋の学会・講習会シーズンを迎えて、より一層忙しい日々を過ごしている方も多いと思います。

「最初の3年間をどう過ごしたかでその人のPT (についての概念, 考え) が決まる」と諸先生方に言われて卒業しましたが、ふと気づくと私もPTとして勤務して3年目。そんな自分は? と考えこんだり、日常のPT業務に追われたふりをして流されたり……を繰り返しています。そして最近、初心のパワーがなくなり、“死んだ魚の目”のようになってきているような自分が嫌になることがあり、「気合いを! パワーを!!」と奮起させているつもりです。

私が勤務する東北厚生年金病院は、以前 (現在休んでおりますが) 3年生実習先にもなっており、ご存じの方も多いと思います。PT 8名、OT 7名、ST 3名、マッサージ師 2名、SW 1名の大所帯です。1期生の石井さんも同じ職場で元気な声を出して働いておられます。PT業務は疾患別担当制で、私はRA・整形外科患者を担当しています。RA患者は、PTを行っていても、薬物コントロールをしていても着実に機能低下していく患者がいたり、入院当初とは別人のようにスタスタと歩いて退院していく患者がいたり、まさにケースバイケースです。自分なりのPTというものは、まだまだ見つけられず、戸惑いの毎日で、いつもどこかに青あざを作ってトタバタとドジをふんでおります。

プライベートでは、普段は病院とアパートの往復のみ (週2回は習い事…休みがちですが) で、夜の電話代がかさむ毎日です。休日はその反動であちこち遊び回っています。車は持っていませんが、仙台にいらっしやっただ際は、どうぞ連絡して“ご利用”して下さい。それでは、またの機会に。

追伸 「青森を離れて、同窓生の少ない地にいると、連絡を取り合う同窓生はどうしても限られてしまいます。そんなとき *Apple Road* を読むと励まされたり、考えさせられたりと、自分は医短の卒業生なのだと思ひ出させられます。」

という添え書きとともに原稿が寄せられました。期日は遅れても思い返して記事を寄せてくれたこと、大変励みになります。

掲載時期が遅れて、季節が若干ずれてしまいました。ごめんなさい。(広報部)

☆ おめでとう ☆

畠山 優 (3期生) 長男: 祐樹 (ゆうき) 10月28日 誕生

銭谷 妙子 (3期生) (旧姓: 上長根) 11月11日 結婚

☆ 総会成立せず！今後の運営は？ ☆

出席者28名、委任状45名、計73名

同窓会規定第16条により、会員の2/3(110名)に達せず、総会は成立しませんでした。今回の総会は、会員の増加に伴い会の運営の見直しを迫られており、そのための規約改正が議題となっていました。今後の方針を決める総会が成立しなかったことから、役員一同、進退を含めてどう継続していくか、検討中です。出席した会員から次の意見が出されていますので、会員各位の意見を事務局まで送って頂きたいと思います。

- ・会員みんなの関心が薄れてきており、大勢の声をとりあげるのは不可能である。有志が運営していく方法でいいのではないか。
- ・会員の増加に伴い、顔も知らずに連絡をとることも増えてくる。終身会費とし、事業の内容に応じて寄付金を集めてはどうか。
- ・総会など、会の事業にも参加者がこなくなっており、会費も1/3以上納められていない。規約にそった運営を廃止し、年1会同窓会有志主催で講演会などを開き、集う場を設ける形はどうか。
- ・同窓生意識を無くさないよう、ニュースの発行だけは続けてもらいたい。
- ・総会は紙上で行ってかまわない。

流会以後の記

- ▼ 今回は短大10周年記念特集号を組みました。酒の威を借りてケンケンガクガク、激論となったセミナーの様子をもう一度、活字にしてみました。参加した方にも、出来なかった方にも雰囲気伝わったでしょうか。
- ▼ 残念ながら、同窓会は、10周年を前にして総会が流会になってしまいました。先の心配をしても致し方なし、心と心をつなぐ同窓会 NEWS だけは、発行を続ける所存です。
- ▼ 雪がちらつく季節となりました。お酒の機会も増えることと思います。体をこわさぬよう、また、お酒の失敗をせぬよう、気をつけましょう。

広報部長：河原優美子

広報部員：櫻庭 満 後藤 明教 三上 一貴 荒井 祐子
 土岐 浩志 菊池 香 (編集協力：尾田 敦)

☆ 1990年度定期総会 終了 ☆

去る 2月23日、弘前大学医学部附属病院理学療法部評価室において、今年度の定期総会が開催されましたので、議事録を掲載し、討議・決議された事項について報告致します。

< 議事録 >

- ◎出席者数及び委任状数 115 (出席者17名, 委任状98名)
会員数 (148名) の3分の2 (99名) 以上の出席にて総会成立
- ◎議 長：成田さおり
- ◎書 記：藤田 茂子
- ◎議事録署名人：神 香

I 第1号議案：1990年度事業報告 承認

1. 新入会員19名 (会員総数148名)
2. 臨時総会の開催 (1990.10.20)
出席者28名, 委任状45名, 合計73名, 同窓会規定第16条により必要定数 (99名) に達せず総会不成立
3. 会報の発行 (Apple Road No29~32)
4. 理学療法学科創立10周年記念セミナー開催 (理学療法学科と共催)
5. 役員会の開催 (4回)
 - ①第1回 ('90. 6.23) 規約改正について
 - ②第2回 ('90. 8.25) 選管規定見直し, 臨時総会準備
 - ③第3回 ('90.11. 2) 同窓会運営見直し
 - ④第4回 ('91. 2.13) 定期総会準備
6. 祝電発信 8通

◆意見◆

- ・項目2の臨時総会の開催について、必要定数に達せず総会不成立だったのに、開催という表現は不適切という指摘があった。

11 第2号議案：1990年度決算報告及び会計監査報告 …… 承認

収入の部

項 目		予算案	決 算	備 考
前年度繰越金		196,055	196,055	平成元年度より
1～7回生 会 費	'93年 前納分会費		1,000	2,000×0.5名：前納
	'92年 "		2,000	2,000×1名： "
	'91年 "		10,000	2,000×5名： "
	'90年 2,000×121.5：前納者除く	243,000	193,000	2,000×96.5名
	'89年 2,000×42：未納者分	84,000	66,000	2,000×33名
'88年 2,000×4： "	8,000	8,000	2,000×4名	
8回生入会費・年会費 3,000×19名：8回生		57,000	54,000	8,000×1名 3,000×14名 2,000×2名
寄 付 金 (齋藤康弘氏より)			10,000	
銀 行 利 息			1,280	
収入総計		588,055	541,335	

支出の部

項 目		予算案	決 算	備 考
理学療法学科創立10周年記念セミナー拠出			150,000	H2.10.20特別会計へ
事 務 通 信 費	消耗品：タックフォーム・印刷用紙等	50,000	0	
	事務用品：FDD・領収書・ペン・修正液等	25,000	0	
	会議費：役員会15,000・広報部35,000	50,000	2,800	選管委員会会議費
	切手代+はがき代	100,000	63,786	きって59,276・はがき4,510
貯 蓄	封筒印刷費	20,000	21,630	
	10周年記念事業積立金として	250,000	0	
総会費	総会運営費：会場使用料・資料作成等	30,000	1,112	大病リハ部へお礼
慶弔費	慶弔電報発信	10,000	6,982	8通分
使 途 不 明 金			5	はがき交換手数料？
予 備 費		53,055		
次 年 度 繰 越 金			295,020	
支出総計		588,055	541,335	

◆補足説明◆

会計監査の行われた2月13日現在において、収支が5円合わなかった。検討の結果、書き損じの葉書の交換手数料と思われるが、これには領収書が発行されないため確認はとれない。

◆会計監査報告◆

1990年度決算報告について、上記の通り承認されたことを報告いたします。

会計監査委員 楠美 有理
山田 朋子

III第3号議案：1991年度事業計画 承認

1. 研修会の開催
2. 会員名簿の発行
3. 総会の開催
4. 会報の発行
5. 同窓会設立10周年記念事業準備委員会の発足

◆追加説明◆

- ・会長より、研修会の講師に青木主税（弘大医短）先生を考えているが、会員の希望をとってからにしたいという説明があった。
- ・名簿は隔年発行されており、次年度（平成3年度）がその年にあたる。
- ・同窓会の10周年は、10期生が卒業（平成4年3月卒業）し、入会した年度であり、平成5年（1993年）3月をめどに考えている。まだ期間はあるが、同窓会として少しずつ準備を進めていきたい。

IV第4号議案：1991年度予算案 承認

収入の部

項目	予算案	備考	
前年度繰越金	295,020	平成2年度より	
1～8回生 会費	'91年度年会費	279,000	279,000=2,000×139.5:前納者8.5名分除く
	未納分会費	74,000	48,000=2,000×24 : '90年度分
			6,000=3,000×2 : //
			2,000=1,000×2 : //
		18,000=2,000×9 : '89年度分	
9回生入会費・年会費	42,000	42,000 3,000×14名: 9回生	
収入総計	690,020		

支出の部

項目	予算案	備考
貯蓄	300,000	10周年記念事業積立金
研修会準備費	100,000	
事務費	80,000	消耗品・事務用品
会議費	45,000	役員会15,000・広報部30,000
通信費	120,000	
慶弔費	10,000	慶弔電報発信
予備費	35,020	
支出総計	690,020	

◆質疑応答◆

支出に会員名簿発行の予算が計上されていないという質問に対して、事務費・通信費でまかなうという回答があった。

V 第5号議案：規約改正について …………… 承認

(別紙参照：改正後の規約)

◆討議◆

会長より、規約改正の骨子と内容について説明があり、総会の在り方、総会の開催に必要な定数等について活発な議論が展開された。「総会は紙上ではなく会員を召集して行うことを前提とし、やむを得ない場合には紙上総会とするべきである」「その時々の方長のやり易いように幅があった方がよい」などの意見があり、討議の結果、以下の2点が確認され、決定した。

①総会は会長の一任で召集すること。

②総会成立の定数は会員総数の過半数とすること。

他の改正案は議案通り承認された。

VI 第6号議案：役員改選及び会計監査委員の選出 …………… 承認

◆任期満了に伴う役員改選について、先日行われた郵送投票の開票が選挙管理委員（立会人：須藤恵理子）によって行われた。結果は以下の通りである。

開票結果

◎投票総数：86票 無効票：2票

《会長》	石川 玲 … 38票	<次点>	尾田 敦 … 21票
《副会長》	尾田 敦 … 29票	<次点>	櫻庭 満 … 11票
《理事》	河原優美子 … 31票	<次点>	奈良 剛 … 22票
	勘林 秀行 … 25票		後藤 明教 … 17票
	櫻庭 満 … 25票		楠美 有理 … 15票
	藤田智香子 … 23票		

◆会計監査委員の選出は、同窓会会則第20条及び第25条に基づき、役員選挙開票に引き続いて選出された。以下の通り立候補及び推薦があり、承認決定した。

奈良 剛（立候補）、神 香（推薦）

※尚、選出された藤田智香子理事は、4月より東京へ転勤が決まっており、会務執行が困難と予想される。その場合は会則第11条に従い、他の理事がその会務を代行することになる。この点に関して、理事の会務担当が決定し次第、藤田理事の下に部員を置くことによって役員会のもとで部員に会務を代行してもらったかどうかの意見が出され、全会一致で承認された。部員の選考及び委任は藤田理事に一任することに決定した。

☆新役員抱負☆

役員改選の結果、上記の通り新役員が決定し、平成3年3月1日より着任致しました。既に役員役割分担も決定し、平成3年度からの同窓会新体制が整っております。

新年度を迎えるに当たって、新しく選出された役員の方々に、今後の抱負を一言ずつ頂きました。会員の皆様からの激励とご協力の程よろしくお願いたします。

<会 長：石川 玲>

1回生が、弘高下の今は無き「まんぶく村」で饅頭のせんべいを肴に飲みながら結成した同窓会の会長を務めて8年が経過しました。その間、様々なことがあり、特に昨年度の総会流会は、会長の責任が問われるべき事態であったと思っています。それにもかかわらず今回再選されたのは、会員諸氏の叱咤激励の表われであると認識し、同窓会と母校の発展のため更に奮起しなければと痛感しております。来年度は同窓会創立10周年の記念すべき年であり、新役員と共に一つの節目を迎えるに当たっての準備を怠りなく進めたいと考えていますので、会員の皆様の尚一層のご協力をお願い致します。

<副会長：尾田 敦>

会長と共に、5期目の副会長を務めることになりました。
通算10年ということになりますが、10年ひと昔といえます。バイタリテイのある若手に是非バトンタッチしていきたいと考えております。そのような体制づくりを目指し、将来性のある同窓会に出来ればと考えていますので、よろしくお願い致します。

<理 事：河原優美子> - 広報部担当

再び広報を担当させて頂くことになりました。年々、顔も名前もわからない同窓生が増えていくわけですが、近況ばかりでなく、PTであるがゆえの喜びや悩みなど、心と心をつなぐNewsを心がけていきたいと思っています。御愛読を宜しく願います。

<理 事：勘林 秀行> - 事務局担当

何が何だかわからないうちに、理事になってしまいました。皆様の下僕となって頑張りますので宜しくお願いします。

<理 事：櫻庭 満> - 庶務部担当

庶務を担当します。あまり得意な仕事ではないのですが、2年間務め終えたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

<理 事：藤田智香子> - 会計部担当

この度新役員に選出して頂き、会計を担当することになりました。
私事ですが、4月から職場が東京に変わるため、実際上任務を遂行することは困難です。このため実務は部員の楠美さんが担当します。どうかよろしくお願い致します。

※部員：楠美 有理

昨年度まで会計監査でした。元来お金が好きなので、ピンバシ会費徴収を行いたいと思います。ご協力、よろしく！

<会計監査：奈良 剛>

去年までは会計で、今年は会計監査の3期生、奈良です。今度は役付きから逃れたいですね。

<会計監査：神 香>

公正な会計が行われるよう、しっかり監査したいと思います。頑張ります。

☆ 庶務部からのお願い ☆

新年度を迎えるにあたり、転勤等で勤務先や現住所が変更になった方々、至急事務局まで異動のご連絡をお願いします。異動の連絡がない場合は、同窓会発行のニュースその他の書類等が配達されずに返送されてくる場合があります。その際は再発送致しませんのでご了承下さい。また、今年度は名簿発行年度に当たっておりますので、できるだけ正確に異動の連絡をお願いします。連絡には同封の『異動届』を使用して下さい。新入会の方々は、新居及び電話番号が決まり次第、『入会届』をお送り下さい（連絡先をはっきりさせるように！）。

ご結婚なさる方、同窓会より祝電を打ちますので日時、場所、相手方のお名前をお知らせ下さい。さらにご出産された方々はお子さんの誕生日とお名前をお知らせ下さい。追ってニュースに掲載致します。

☆ 平成3年度会費納入について（会計部より） ☆

平成2年度の会費納入の時期がまいりました。例年会費納入状況が悪く、会務遂行上困難を生じておりますので、同封しました振替用紙を用い、記入されている額を振り込んで頂きますようお願い致します。尚、滞納者につきましては、概ね以下のような手順で督促を行うこととなりますので、お気をつけ下さい。

また、新入会員についての入会金及び今年度年会費の納入はすべて完了しておりますので、ご報告致します。

- ①会費は当該年度の **6月末日** までに納める。
- ②当該年度終了後においても未納の場合は、督促状を発送し、納入催促をする。
- ③当該年度終了後2年以上の滞納の場合は、納入督促を再度行い、応じない場合には退会勧告を行う。
- ④当該年度終了後3年以上の滞納の場合には、役員会の決議により除名する（会則第29条）。
- ⑤尚、年会費は 2,000円とする。

☆ 御卒業おめでとうございます ☆

去る 3月20日(水)に、弘前大学医療技術短期大学の平成2年度卒業式が挙行され、第9期卒業生14名（男性8名、女性6名）がめでたく卒業されました。今年度は、14名という過去最少人数の卒業生ですが、多くは地元へ帰られるようです。9期生の皆さんご卒業おめでとうございます。何処にいても、弘前での思い出を胸に健康で御活躍されることをお祈りし、そして同窓会への入会を心より歓迎致します。14名の入会で、会員数は162名となりました。

入会金及び年会費の納入につきましては、引越し等のいろいろ出費がかさむ時期にも関わらず速やかに納入頂き、誠に有り難うございました。ニュース発送や諸連絡等の都合上、入会届は後日、同窓会事務局まで出来るだけ早急に郵送して頂きますようよろしくお願い致します。

新転地にて、この先多くの悩みや不安があるでしょう。何かで困ったときは、先輩卒業生に気軽に相談してみてください。決して俺は知らんと突き放すようなことはないはずです。同じ弘前の卒業生として出来る限り援助してくれるものと思います。また何かの折りには、この同窓会会報「Apple Road」を読んで弘前を懐かしんで下さい。

第9期卒業生の出身地、及び就職先を付記しましたので、会員名簿追加発行（8月頃を予定）まで、名簿の一部としてご使用頂ければ幸いです。

☆私のページ☆

第4期生 中村 彩子 会員 (所属: 栃木県身体障害者医療福祉センター)

まだ冷たい風が頬をつきさす宇都宮ですが、皆様の所はどうでしょうか。

理学療法士となって5年。一つの区切りとして何かをしたい衝動にかられ、あこがれを行動に起こしました。3月末で当センターを退職し、7月には青年海外協力隊のメンバーとしてマレーシアに出発します。そこでは、重度心身障害児・者の収容施設でPTとして働くことが決まっています。どのような疾病構造なのか、どのような医学レベルなのか、治療器具は備わっているのか、文化・宗教等はどうなっているのか、百聞は一見にしかず、いろんな体験をしてこようと思っています。

なぜ、海外なのか、やらねばならぬことは身近にあるのではないかと、周りからも、自分自身からも問われます。遠くから眺めるのではなく、その場に居たい、何らかの形で参加したい気持ちを大切にしました。

— 行ってみたいな、よその国 —

好きな唄のフレーズです。

たかが臨床5年足らずの人間がやれることは限られているかもしれませんが、精一杯生きることだけは忘れないようにと思っています。

最後に、やりたいことをやれる環境、健康な体を授かわせてくれた両親には感謝しています。

第5期生 相坂 隆之 会員 (所属: 公立七戸病院)

会報「Apple Road」を、お読みのみなさん、こんにちは。私は公立七戸病院に勤務しております 箱殿 隆之 です。医短を卒業して早4年が過ぎようとしていますが、何事についても、あれで良かったのか、ああすれば良かったのに、などと反省の毎日です。

さて、話しは変わりますが、私の勤務する病院のある七戸町は、国道7号線沿いに位置し、十和田市と天間林村の間にある町です。むかし、新幹線が通るとか、通らないとかで有名(?)になった事があり、町名くらいは、覚えている人がいるのではないかと思います。

町の話は、これくらいにして、最近の私の状況をお話したいと思いますが、特に変わったことはありません。強いて挙げるなら近所の飲み屋につけがきくようになった事と、平成3年3月10日に結婚する事になったくらいです。お酒が飲みたくて、私の妻(3月10日以降)の顔が見たい人は、七戸に遊びに来てください。歓迎します。

では、みなさん、また会う日までさようなら。

編集後記

- ◆ またまた春がやってきました。卒業、就職、異動、と新しい環境に胸膨らむ想いと不安とが入り交じっている同窓生も多いことでしょう。PTは気力、体力とも充実していないと、いい仕事はできません。しっかり朝ご飯を食べて、健康管理を怠りなく。
- ◆ 先日、友人(P.T)の結婚式に出席しました。お仲人さん、某病院長の挨拶には、お決まりの美辞麗句はなく、地味な仕事ではあるが患者の心もリハビリしている友人の姿、PTの果たす役割などが紹介されていました。友人の成長を感じると共に、このような形で、PTの存在をアピールして下さる医師に感激しました。どんな環境にあっても医療スタッフ間の垣根を取り払って目標に向かっていきたいものです。(広報部長 河原優美子: 記)

編集・発行: 弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科同窓会役員一同

卒業生氏名	出身地	就職先及び所在地・電話番号
あいない しのり 相内 俊範 №.149	青森県	名川町国民健康保険名川病院
	南部町	〒039-05 三戸郡名川町大字平字虚空蔵29番地 ☎0178-76-2001
あび たかみ 阿保 孝文 №.150	青森県	財団法人秀芳園弘前中央病院
	弘前市	〒036 弘前市吉野町3-1 ☎0172-36-7111
いちい じゅんこ 一居 淳子 №.151	千葉県	総合病院国民健康保険旭中央病院
	佐原市	〒289-25 千葉県旭市イの1326番地 ☎0479-63-8111
おのだ しゅういち 小野田修一 №.152	福島県	原町市立病院
	原町市	〒975 福島県原町市大町2丁目26番地 ☎0244-22-3181
たてか かすみ 立塚 夏澄 №.153	北海道	総合病院北見赤十字病院
	釧路市	〒090 北海道北見市北6条東2丁目 ☎0157-24-3115
たなか のりこ 田中 典子 №.154	青森県	青森県立はまなす学園
	南郷村	〒031 八戸市大字大久保字大塚17-729 ☎0178-31-5005
つしま えいき 対馬 栄輝 №.155	青森県	津軽保健生活協同組合健生病院
	大鰐町	〒036 弘前市大字野田2丁目2-1 ☎0172-32-1171
とみやま きよえ 富山きよ江 №.156	北海道	医療法人財団敬和会時計台病院
	札幌市	〒060 北海道札幌市中央区北1条東1丁目 ☎011-251-1221
なかえ ひでゆき 中江 秀幸 №.157	北海道	東北大学医学部附属病院鳴子分院
	札幌市	〒989-68 宮城県玉造郡鳴子町字新屋敷67-1 ☎0229-82-2531
にゅうい あまこ 乳井亜絹子 №.158	青森県	医療法人謙昌会美保野病院
	弘前市	〒031 八戸市大字大久保字大山31-2 ☎0178-25-0111
やぎはし せいこ 八木橋清子 №.159	青森県	公立金木病院
	弘前市	〒037-02 北津軽郡金木町大字金木字菅原19番地 ☎0173-53-3111
やすた しんえち 安田真恵智 №.160	青森県	蟹田町国民健康保険蟹田病院
	金木町	〒030-13 東津軽郡蟹田町大字蟹田字下蟹田42-1 ☎0174-22-3450
わたり かつじ 巨理 克治 №.161	北海道	帝京大学医学部附属市原病院
	苫小牧市	〒299-01 市原市姉崎3426-3 ☎0436-62-1211
きのした しげる 木下 滋 №.162	北海道	社会福祉法人秋田県小児療育事業団秋田県小児療育センター
	虻田町	〒010 秋田県秋田市川尻町字八橋境2-11 ☎0188-23-7530

☆ おめでとう ☆

- <ご結婚> 相坂 隆之 (5期生) 平成3年3月10日 (映子さん)
 三上 雅史 (6期生) 平成3年3月16日 (弘子さん: OT学科1期生)
 田村 嘉唯 (4期生) } 平成3年3月17日 (初のPT卒業生同志で〜す)
 高林 秀子 (5期生)
- <ご出産> 山田 伸 (2期生) 平成3年3月17日 (長女: 美帆)